

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-124586

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月15日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	F I	
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	3 3 0
9/06	5 5 0	9/06	5 5 0 G
12/14	3 2 0	12/14	3 2 0 C
17/30		15/40	3 2 0 B
			3 7 0 G

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平8-283061

(22) 出願日 平成8年(1996)10月3日

(31) 優先権主張番号 特願平8-247058

(32) 優先日 平8(1996)8月28日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 595100934

鯨田 雅信

福岡県北九州市小倉南区徳力新町2-1-

11 (鯨田ビル1F)

(72) 発明者 鯨田 雅信

福岡県北九州市小倉南区徳力新町2-1-

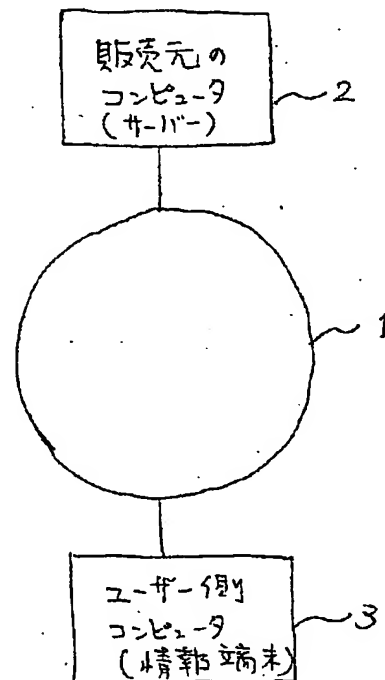
11 (鯨田ビル1F)

(54) 【発明の名称】 コンテンツ販売システム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザーのコンピュータのハードディスク等の記録装置の容量の限界の問題をクリアできるネットワークを介した情報の販売システムを提供する。

【解決手段】 各カタログコードによってそれぞれ特定されるコンテンツを蓄積したデータベースと、ユーザーが前記カタログコードによって特定されるコンテンツのアクセス利用権の代金支払いを行ったとき、前記ユーザーについて、前記の代金支払いが行われたコンテンツへのアクセス利用権を付与することを、前記データベースに記録するか又は前記データベースに関連させて記録する手段と、ユーザーからの要求に基づいて、前記データベースから、前記ユーザーにアクセス利用権が付与されているコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する手段と、前記ユーザーが前記一覧表示されたタイトルのいずれかを指定したとき、ユーザーがそのタイトルに係るコンテンツに対してアクセス利用することを許可する手段と、を含むものである。



Express Mail #EL778108415US

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータ・ネットワークに接続されており、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツ（情報の内容）を多数蓄積しているデータベースと、

ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのいずれかについてアクセス利用権の設定の申込みをしたとき、前記ユーザーに対して、その申込まれたコンテンツについて何回でもまた何時間でもアクセスして利用するためのアクセス利用権を設定するアクセス利用権設定手段と、

前記アクセス利用権の設定をしたとき、このアクセス利用権が設定されたことを、前記ユーザーのIDコード（識別コード）及び前記コンテンツの識別コードなどと関連させて記録する関連記録手段と、

ユーザーからコンピュータ・ネットワークを介して要求があったとき、そのユーザーのIDコードをキーとして、前記関連記録手段から、前記ユーザーにアクセス利用権が設定されているコンテンツのタイトル等を一覧表示する手段と、

前記ユーザーがコンピュータ・ネットワークを介して前記一覧表示されたコンテンツの中のいずれかを指定したとき、ユーザーが前記データベース中のそのコンテンツにアクセスしてこれを利用することを、許可する手段と、を含むコンテンツ販売システム。

【請求項2】 コンピュータ・ネットワークに接続されており、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツ（情報の内容）を多数蓄積しているデータベースと、

ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのいずれかのアクセス利用権の設定の申込みをしたとき、前記ユーザーに対して、所定の有効期間内においては、その申込まれたコンテンツについて何回でもまた何時間でもアクセスして利用することを許可するアクセス利用権を設定するアクセス利用権設定手段と、

前記アクセス利用権の設定をしたとき、このアクセス利用権が設定されたことを、前記ユーザーのIDコード、前記コンテンツの識別コード、及び前記アクセス利用権の有効期間を示すデータと関連させて記録する関連記録手段と、

ユーザーからあるコンテンツのアクセス利用の要求が送信されてきたとき、前記関連記録手段を参照して、そのユーザーのそのコンテンツについてのアクセス利用権がまだ有効期間内であるかどうかを判定する手段と、

この判定手段によりまだ有効期間内であると判定されたときは、前記ユーザーが前記データベースを通じて前記コンテンツにアクセスしてこれを利用することを、許可する手段と、を含むコンテンツ販売システム。

【請求項3】 請求項2において、さらに、ユーザーから自己が現在アクセス利用権を保有している

コンテンツ又は自己が過去に（有効期間が切れる前に）アクセス利用権を保有していたコンテンツを一覧で表示して欲しいとの要求があったときは、前記ユーザーのIDコードをキーとして、前記関連記録手段から、ユーザーのために前記コンテンツのタイトル等を一覧表示する手段、を含むことを特徴とするコンテンツ販売システム。

## 【0001】

## 【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットなどのコンピュータネットワークを利用したコンテンツ（情報の内容）の販売システムに関し、より正確には、テレビ番組、電子雑誌・電子新聞の記事、映画、音楽、演劇の記録映像、絵画の記録映像などのさまざまなコンテンツ（情報の内容）にアクセスしてこれを利用する権利を販売するシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より、インターネットなどのコンピュータネットワーク上で、電子マネーを使用した情報の販売が実験又は実施されている。この従来の情報の販売は、例えばコンピュータ用プログラム（などのソフトウェア）の販売として、次のように行われる。すなわち、まず、プログラムの売り手がインターネットにホームページを開設して、そこにプログラムの販売条件を表示する。ユーザーはインターネットに接続してそのホームページにアクセスし、購入したいプログラムを選択して指定する（マウスなどのポインティングデバイスでクリックする）。そして、その代金をクレジットカードを利用して支払う（一部では、この支払いを電子マネーを送信することにより行う例もある）。この代金支払いをしてから、ユーザーは、該当するプログラムをデジタルデータの形で受信して自己のパソコンにダウンロードする。これにより、プログラムの販売が終了する（「シェアウェア」などと呼ばれる）。なお、代金支払いの前に、プログラムのデータを暗号化して送信し、ユーザーから代金の支払いがあったとき、前記の暗号を解読するための暗号キー・データを送信するというやり方もある。

【0003】 以上のような情報の販売方法は、例えば、米国のE-DATA社が1983年1月10日出願し、1985年7月9日に発行された米国特許（米国特許番号4,528,643）により、既に特許されている。この特許は、ソフトウェアの配布に関する特許である。その内容は、カタログコードによって特定される情報を記録した情報再生装置を用いて、ユーザーの物理的媒体上に情報を再生する方法であって、情報を特定するためのカタログコードを含む再生要求コードをユーザーから受信したとき、その再生要求コードに含まれるカタログコードによって特定される情報の再生を承認する承認コードを発生させ、前記承認コードをユーザーから受信したとき、前記カタログコードによって特定される情

報をユーザーの物理的媒体に再生させる、というものである。この特許の保護範囲については、その解釈は様々であろうが、例えば、コンピュータ・ネットワークを介して、プログラムや音楽情報等を暗号化して送信し、そのデータをユーザーが保有するコンピュータのハードディスクにダウンロードさせ、その後、暗号キー等によって前記暗号化されたデータを使用可能とする方法で情報の販売を行う行為は、この特許の保護範囲に含まれる、とする意見もある（以上、1996年7月22日発行の日刊工業新聞の記事「米で特許侵害の恐れ。暗号キーを使ったインターネットなどでのソフト販売」を参照。また、インターネットのホームページ <http://www.patents.com/ige.sht> を参照）。以上の方法は、要は、ソフトウェア等のコンテンツの全体をまず送信してダウンロードさせた上で、確実に費用を回収する点にポイントがある。また、ソフトウェアの「超流通」というソフトウェア流通方法も提案されている。この方法は、例えば、特公平6-28030号公報、特公平6-19707号公報、特公平6-95302号公報及び特開昭64-68835号公報などに開示されている。要約すれば、ユーザー側の端末に専用のハードウェアを取り付けて、ユーザーが購入したソフトウェアを使用したときは、その使用時間に応じて課金していくとするものである。この方法についても、要は、ソフトウェア等のコンテンツの全体をまず送信してダウンロードさせた上で、使用時間に応じて確実に課金していくことをポイントとしている。

#### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上述したような従来のソフトウェア販売は、いずれも、ソフトウェアの販売元からユーザーにソフトウェアのデータを送信し、ユーザーのコンピュータのハードディスクにダウンロードさせる、というものである。しかしながら、ユーザーのコンピュータのハードディスクの記憶容量には限界があるので、プログラムなどの文字データではなく映画やテレビ番組などの画像データを含むコンテンツについては、送信する方法だけではユーザーのコンピュータのハードディスクの容量がすぐ一杯になってしまうという容量不足の問題が生じる可能性が高い。また、前述のような「超流通」についても、コンテンツの種類によっては、適しない場合がある。具体的には、次のとおりである。

【0005】 プログラムなどのビジネスに使用するソフトウェアについては、上記の「超流通」などのように、「使用時間」に応じた課金という方法は妥当といえる。しかし、映画、アニメ、漫画、小説、絵画、音楽などの芸術や人間の趣味にかかわるコンテンツは、単純に「使用時間」などで決めるのは、利用者の利用実態と掛け離れたものになってしまう。なぜなら、映画、アニメ、漫画、小説、絵画、音楽などの鑑賞にあたっては、人によっては、一つの映画やアニメの中のある一つの場面を何

時間でも何回でも見たいという人とそうでない人があるし、印象派の画家による絵画の中のある絵画について何時間でも何回でも見たいという人もいる。音楽についても、一つの楽曲の中のあるフレーズの部分だけ何回でも聴きたいという人もいるし、ある楽曲は自分の卒業式や結婚式のときの場面で流れていてその楽曲については特別の思い出があるので、卒業式のシーズンや結婚式記念日には何回でも何時間でも聴きたいという人もいる。そのような、一つのコンテンツについて、またそのコンテンツの中の一部について特別の「思い入れ」「こだわり」のある人は少なくない。そういう人にとっては、そういう「思い入れ」「こだわり」のある映画、アニメ、漫画、小説、絵画、音楽などの種類のコンテンツについては、CD-ROMなどに記録されたパッケージを購入して好きなときに「使用時間」や「使用回数」などに関係なく、自分の好きなときに何時間でも何回でも繰り返し鑑賞したいと思うものである。つまり、こういう種類のコンテンツを「鑑賞」するときに、前記のような「超流通」のようなシステムでは、「使用時間」や「使用回数」でどんどん課金されてしまうので課金が気になって「ムードが出ない」「落ち着いて鑑賞できない」「作品に没入・感情移入できない」ということになる。そこで、「ゆっくり鑑賞に浸る」ことを可能にするには、コンテンツの購入についてもパッケージの形態が適している、ということになりそうである。しかし、パッケージの形態での購入についても、次のような問題がある。すなわち、パッケージの形態でコンテンツを購入した場合、それは従来の「書籍」や「レコード」と同様に、書棚やラックなどの物理空間に「収納」する必要があるが、コンテンツのパッケージの数が多くなるとその「収納のための物理スペース」の確保が難しくなるという問題がある。また、仮に「収納のための物理スペース」の点を置くとしても、パッケージの数が多くなると、どこにどんなコンテンツがあるのか分からなくなってしまうという問題（いわば「検索が困難になるという問題」）がある（図書館などの専門機関は別として、個人の生活においては、従来の書籍やレコードについてこれは大きな問題となっている）。それでは、パッケージの形で購入するのではなく、コンピュータ・ネットワークを介して電子化されたデータとして購入して、それをユーザーのパソコン（パーソナル・コンピュータ）のハードディスクに記録しておけば、前記「収納のための物理スペースの不足の問題」や「検索が困難という問題」も、ある程度解決できそうである。しかし、ユーザーのパソコンのハードディスクへの記録については、特に映画やアニメなどの画像データから成るコンテンツは情報量が膨大になるため、そのハードディスクの容量がすぐ一杯になってしまうという問題（容量不足の問題）がある。

【0006】 本発明は以上のような従来技術の課題に着目してなされたもので、映画、アニメ、漫画、小説、絵

画、音楽などのような、ユーザーが「使用時間」や「使用回数」などに煩わされることなく、自分の好きなときに「何時間でも何回でも」繰り返して「ゆっくり鑑賞に浸りたい」と希望するような種類のコンテンツに適した販売システムであって、しかも、ユーザーの端末側の記録装置（ハードディスクなど）の容量不足の問題をも回避することができる、コンテンツの販売システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

(1) 以上のような課題を解決するための本発明によるコンテンツ販売システムは、コンピュータ・ネットワークに接続され、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツを多数蓄積したデータベースと、ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのアクセス利用権の設定の申込みをしたとき、前記ユーザーについて、前記の申込みされたコンテンツへのアクセス利用権を設定することを、ユーザーID（ユーザーのIDコード）やコンテンツの識別コードなどと関連付けて記録する関連記録手段（この関連記録手段は、前記データベース内の所定領域に記録されるか又は前記データベースとは別個にこのデータベースに関連させて記録されるのがよい）と、ユーザーからのコンピュータ・ネットワークを介した要求に基づいて、前記関連記録手段から、前記ユーザーにアクセス利用権が設定されているコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する手段と、前記ユーザーが前記一覧表示されたコンテンツのいずれかを指定したとき、ユーザーがそのコンテンツに対してアクセスし利用することを許可する手段と、を含むものである。なお、この発明においては、前記アクセス利用権の有効期間は、所定の期間に限定してもよいし、限定しないで「永久」又は「終身」としてもよい。また、本発明では、前記アクセス利用権は、コンテンツのアクセス及び利用を所定の期間だけ許可し、その期間内なら何回でも何時間でもアクセス利用を認めることを内容とするものであるのがよい。

【0008】(2) また、本発明のコンテンツ販売システムは、コンピュータ・ネットワークに接続され、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツを多数蓄積したデータベースと、ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのアクセス利用権の申込みをしたとき、前記ユーザーについて、前記の申込みされたコンテンツへのアクセス利用権を所定の有効期間だけ設定するアクセス利用権設定手段と、前記アクセス利用権の設定を、その有効期間やそのユーザーのIDコード（識別コード）やそのコンテンツの識別コードなどと関連させて記録される関連記録手段（この関連記録手段は、前記データベース内の所定領域に記録するか又は前記データベースとは別個にこのデータベースに関連させて記録されるのがよい）と、ユーザーからのあるコンテ

ントのアクセス利用の要求に基づいて、そのコンテンツについてユーザーが保有するアクセス利用権の有効期間がまだ満了していないかどうかを判定する手段と、この判定結果に基づいて、前記ユーザーが前記データベースを通じて、前記アクセス利用権が設定されたコンテンツに対してアクセスし利用することを許可する手段と、を含むものである。

(3) また、上記(2)において、さらに、ユーザーから自分が現在アクセス利用権を保有しているコンテンツ又は過去に（有効期間が切れる前に）アクセス利用権を保有していたコンテンツを一覧で表示してほしいとの要求があったときは、その要求に基づいて前記コンテンツのタイトル等を一覧表示する手段を含むことが望ましい。

【0009】

【発明の実施の形態】

実施の形態1. 図1は本発明の実施形態1に使用されるコンピュータ・ネットワークを示す概念図である。図1において、1はインターネットなどのコンピュータ・ネットワーク、2はこのコンピュータ・ネットワーク1に接続された情報販売元のコンピュータ（サーバー）、3はこのコンピュータ・ネットワーク1に接続されたユーザーのコンピュータ（情報端末）である。前記サーバー2を保有する情報販売元としては、典型的には、映画会社、出版社、新聞社、テレビ局、レコード会社、音楽CD（コンパクトディスク）の販売・レンタル会社、データベース会社などのコンテンツ制作販売業者と、日本音楽著作権協会（JASRAC）などの著作権管理機関などの公的機関とが含まれ得る。

【0010】本実施形態1によるコンテンツ販売システムは、前記情報販売元のコンピュータ2を使用して形成される。この販売元のコンピュータ2の記録装置には、販売元が扱うコンテンツのデータベースが蓄積されている。また、この販売元のコンピュータ2は、ユーザーに対してコンテンツのアクセス利用権を設定する手段と、このアクセス利用権の内容をデータベースに（又はデータベースと関連させて）記録する手段と、ユーザー毎にそのユーザーがアクセス利用権を保有しているコンテンツの内容又はタイトルを一覧で表示する手段と、ユーザーに対して所定のコンテンツのアクセス利用を許可する手段とを実現している。

【0011】次に、この実施形態1の動作を図2、図3及び図4を参照して説明する。まず、ユーザーに所定のコンテンツのアクセス利用権を設定する動作を図2のフローチャートに基づいて説明する。ユーザーがコンテンツのアクセス利用権を取得したいと思うときは、コンピュータ・ネットワーク1を介して情報販売元のコンピュータ2に接続し、そのホームページを閲覧する。ユーザーは、そのホームページにある提供可能なコンテンツの一覧を見ながら、希望するコンテンツを選択（マウスなどのポインティングデバイスでクリック）し、その代金

を、例えばクレジットカードによる支払いか又は電子マネーを送信による支払いにより、支払う。前記販売元のコンピュータ2は、その支払いがあったことを確認すると(図2のステップS1)、そのコンテンツについてそのユーザーのアクセス利用権を新たに設定する(同ステップS2)。そして、この設定したアクセス利用権の内容を、前記ユーザー及びコンテンツと関連付けて、前記データベースに記録する(同ステップS3)。なお、この場合、前記の設定したアクセス利用権の設定確認通知をユーザーに送信するか否かは、場合により異なる。ユーザーがそれを希望するときは送信するが、希望しないときは送信しなくてよい。特に、前記の日本音楽著作権協会(JASRAC)などの公的機関やそれに準じた大手企業が情報販売元である場合は、社会的信用性が高いので、ユーザーはアクセス利用権の設定確認通知の送信を希望しない場合も有り得る。

【0012】このアクセス利用権の設定により、ユーザーは、そのコンテンツを、コンピュータ・ネットワークを介して前記情報販売元のサーバーにアクセスすることにより、そのコンテンツを、いつでも好きなときに、何時間でも何回でも、利用する権利を取得したことになる。これは、ユーザーにとっては、「いつでも好きなときにそのコンテンツを直ちに、何回でも何時間でも、利用できる」という点で、「そのコンテンツのデータを前記サーバーから自己が保有するコンピュータ(パソコン)の記録装置にダウンロードして記録すること」又は「そのコンテンツを記録したCD-ROMなどのパッケージを所有すること」とほとんど同じ効果を生むものである。さらに、単に前記ダウンロードと同じ効果を生むだけでなく、ユーザーは、そのコンテンツのデータの記録により自己のパソコンの記録装置の記録可能な残容量が少なくなってしまうこと(容量不足の問題)が回避できると共に、前記コンテンツのデータの管理を自分でしなくてはならないという煩わしさ(「コンテンツの検索のための管理の問題」)からも解放されるという効果が得られるようになる。つまり、以上のアクセス利用権の付与により、ユーザーは、あたかも「そのコンテンツのデータの保存と検索のための管理とを代行してくれる自己専用のコンテンツの貸し倉庫」を得るのと同じメリットが得られる訳であり、あたかも「自分の保有する電子出版物を保管しておく電子書斎」を前記情報販売元のサーバー内に確保したのと同様のメリットを有することになる。このような情報の販売(正確には、コンテンツのアクセス及び利用をする権利の設定)のシステムは、そのコンテンツが紙媒体ではなく電子化されたデータとして記録されるため、情報販売元にとっては、自己のサーバーのデータベースにユーザーによって、「何回又は何時間」アクセスされてもそのためのコストはゼロに近いこと、及び、情報販売元にとっては、記録するのが紙媒体と異なって電子化されたデータであるため、自己のサー

バーのデータベースを「ユーザーのための電子出版物の書斎」として利用させるとしてもそのための特別なコストはゼロに近いこと(これが紙媒体であれば、「ユーザーのための紙媒体からなる出版物を特別に保管するための書斎」を設けることは、そのための紙媒体の保管と保管のための物理スペースの確保など多くのコストを必要とする)、から初めて可能になるものである。

【0013】すなわち、この実施形態1において、ユーザーがコンテンツのアクセス利用をする場合の動作は、次のようになる。ユーザーは、前記情報販売元がデータを保有するコンピュータ2に接続して、例えばユーザーのIDコード(識別コードなど)とパスワードなどを送信し、さらに、この販売元のコンピュータ2にあるデータベースに蓄積されたコンテンツで自己がアクセス利用権を保有しているコンテンツの一覧表示を求める(図3のステップS4)。前記販売元のコンピュータ2では、前記のユーザーIDやパスワードなどからユーザー本人であることを確認できたら(同ステップS5)、そのユーザーが現時点でアクセス利用権を有している複数のコンテンツの内容又はタイトルの一覧を表示する。この一覧表示は、例えば、図4に示すような形で一覧表示される。すなわち、図4に示すように、ジャンル別に、タイトル、備考(そのコンテンツの制作会社、制作年月日、などを記録する欄)、アクセス利用権の有効期間、などが一覧表の形で、画面表示される(図3のステップS6)。ユーザーは、この一覧表示を見て、自分がこれから利用(視聴)を希望するコンテンツが、例えば図4の映画「風と共に去りぬ」であれば、その部分をマウスなどのポインティングデバイスでクリックして指定し、それに対するアクセス及び利用を要求する(同ステップS7)。これを受けて、情報販売元のコンピュータ2は、そのユーザーに対して、そのコンテンツのアクセス及び利用を許可する(同ステップS8)。

【0014】なお、以上の実施形態1においては、ユーザーに対してそのユーザーにアクセス利用権が設定された複数のコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する場合に、図4に示すような「一覧表」という形で表示するようにしているが、本発明はこれに限られるものではなく、単なる箇条書きなどでもよく、「表」という形以外の様々な形での一覧表示をすることも可能である。また、この実施形態1では、図4に示すように、前記アクセス利用権は、所定の有効期間(例えば「5年」)を有するものとして、図4の一覧表示にも、その有効期間を表示するようにしているが、この期間は、「1年」でも「2年」でも「20年」でも、あるいは「一週間」でも「1日」でも、ユーザーが任意に設定できる。本発明では、前記アクセス利用権は、それが設定されたコンテンツについては、所定の有効期間であれば、何時間でも何回でもアクセスして利用することを許可することを内容とするものとして構成している。そこで、ユーザーに対

しては、前記コンテンツ毎に、コンテンツの一覧表示と一緒に表示するのを、残りの期間（例えば、アクセス可能な残りの期間を、映画「風と共に去りぬ」は残り期間が「3カ月」、映画「カサブランカ」は残り期間が「1年4カ月」、などのように）ように表示してもよい。

【0015】実施形態2。次に、本発明の実施形態2を図5及び図6に基づいて説明する。この実施形態2のハードウェア構成は、実施形態1とほぼ同様に、情報販売元のサーバー（コンピュータ）により形成される。このサーバーは、様々なコンテンツのデータベースを構築しており、ユーザー側のコンピュータからのアクセスとあるコンテンツについてのアクセス利用権の設定の要求を受け付けて、ユーザーに対して、指定されたコンテンツのアクセス利用権付与コードを発生する手段と、このアクセス利用権付与コード、アクセス利用権の有効期間などを、そのコンテンツの識別コード及びユーザーの識別コード（IDコード）と関連付けて記録する関連記録手段と、このアクセス利用権付与コードをアクセス利用権の設定の確認通知としてユーザーに送信する手段と、ユーザーからアクセス利用権付与コードが送信されて所定のコンテンツのアクセス利用を要求されたとき、それを受けて、そのコンテンツに関するユーザーのアクセス利用権が有効期間内かどうかを判定する手段と、この判定手段からの信号に基づいて、有効期間内であれば、ユーザーに該当するコンテンツのアクセス及び利用を許可する手段と、から構成される。

【0016】すなわち、具体的には、次ような動作を行う。情報販売元が自己のサーバーにホームページを開設してデータベースを提供している場合に、ユーザーがコンピュータ・ネットワーク例えばインターネットを介してそのサーバーに接続して、そのホームページに表示されたコンテンツの一つについて、そのアクセス利用権の取得を希望する場合を考える。この場合、ユーザーは、そのコンテンツを指定して、そのコンテンツにアクセス利用権の代金を支払う（この支払いは、例えばクレジットカードによる支払いや電子マネーの送信などで行う）（図5のステップS1.1）。

【0017】この代金支払いがあると、前記サーバーは、そのユーザーに対して、そのコンテンツのアクセス利用権（このアクセス利用権は、所定の有効期間のみ存在する権利とされている。また、この有効期間は、情報提供元の側で予め一律に決めることもできるし、ユーザーが自分の好きな期間を任意に選べるようにすることもできる）を設定したことを示すアクセス利用権付与コードを生成する。そして、この生成したアクセス利用権付与コードと、そのアクセス利用権の有効期間と、そのコンテンツの識別コードと、そのユーザーの識別コードとを、互いに関連付けて記録する（図5のステップS1.2）。また、前記サーバーは、このアクセス利用権付与コードを、アクセス利用権の設定の確認通知として、ユ

ーザーに送信する（図5のステップS1.3）。

【0018】以上により、ユーザーは、そのコンテンツを、コンピュータ・ネットワークを介して前記情報販売元のサーバーにアクセスすることにより、いつでも好きなときに利用する権利を取得したことになる。これは、ユーザーにとっては、「いつでも好きなときに、何回でも何時間でも、そのコンテンツを自由に利用できる」という点で、「そのコンテンツのデータを前記サーバーから自己が保有するコンピュータの記録装置にダウンロードして記録すること」とほとんど同じ効果を生むものである。さらに、このことは、単に前記ダウンロードと同じ効果を生むだけでなく、ユーザーは、そのコンテンツのデータの記録により自己の保有するパソコンの記録装置の記録可能な残容量が少なくなってしまうこと（容量不足の問題）が回避できると共に、前記コンテンツの検索のための管理を自分でしなくてはならないという煩わしさからも解放されるという効果が得られるようになる。

【0019】すなわち、後日、ユーザーが、この前記ステップS1.3で送信されたアクセス利用権付与コードを前記販売元のサーバーに送信すると（図6のステップS1.4）、サーバー側は、そのアクセス利用権付与コードに記録されたアクセス利用権の有効期間が既に経過してそのアクセス利用権が消滅しているかどうかを判定する（図6のステップS1.5）。そして、この判定がYESであれば、ステップS1.6に進んで、ユーザーにその旨（アクセス利用権が有効期間経過により消滅している旨）を送信する（図6のステップS1.6）。他方、前記ステップS1.5の判定が「NO」すなわち「そのアクセス利用権がまだ有効期間内である」と判定されれば、ステップS1.7に進んで、そのユーザーに該当するコンテンツのアクセス及び利用（何時間でも利用可能）を許可する（同ステップS1.7）。また、ユーザーが、前記ステップS1.4の後で、自己が今現在アクセス利用権を有効に保有しているコンテンツの一覧を見たいと欲してその旨の要求をしたときは、情報提供元では、そのユーザーのIDコードをキーとして、前記関連記録手段とコンテンツのデータベースから、図4に示すようなコンテンツの一覧表を表示する。ユーザーは、この一覧表を見ながら、自分がこれから利用したいと思うコンテンツを指定して、アクセス利用を要求する。すると、前記の図6のステップS1.5の処理に進む。なお、ユーザーは、自己が過去にアクセス利用権を保有していたコンテンツ（既にアクセス利用権の有効期間が経過してしまったコンテンツ）についても、同様に、一覧表示を要求することができる。このように、ユーザーのために、そのユーザーがアクセス利用権を保有しているコンテンツの一覧表を出力できることは、ユーザーが自分でコンテンツの検索のための管理（市販のデータベース・ソフトウェアを使用して、自分でコンテンツのタイトルなどを入力し

て管理すること)を不要にするものであり、ユーザーにとって大きなメリットを与えるものである。

【0020】

【発明の効果】

(1)以上説明したように、請求項1の発明によれば、情報の販売元(情報提供元)は、ユーザーに対して、コンテンツの情報そのものを送信するのではなく、コンテンツにアクセスしてそれを利用できる(コンテンツを視聴したり、そのデータを加工するなどの利用ができる)アクセス利用権をユーザーに設定(付与)するようにしているので、従来の情報販売のやり方(データの送信というやり方)で生じる可能性のある「ユーザーのコンピュータなどの情報端末の記録装置の記録残容量が送信されたコンテンツの情報ですぐに不足してしまう」という問題が回避できるようになる。

【0021】このようにコンテンツのアクセス利用権が設定されると、ユーザーは、いつでも、コンピュータ・ネットワークを介してその情報販売元に接続して、そのコンテンツに対してアクセスして利用することができるので、ユーザーは、自分のコンピュータなどの情報端末の記録装置にコンテンツをダウンロードして記録した場合と全く同様にコンテンツを利用することができるようになる。

【0022】また、本発明では、ユーザーからの要求により(この場合、情報販売元は、何らかの手段で要求したきた人がユーザー本人であることを確認することが望ましい)、ユーザーがその情報販売元からアクセス利用権の設定を受けているコンテンツの一覧をユーザーのために表示するようにしているので、ユーザーは、自己がアクセス利用権を有しているものの中から任意のコンテンツを選択・指定して、それをアクセス・利用できるようになっている。これにより、ユーザーは、あたかも、「市販のデータベース・ソフトウェアを使用して、自己が保有するコンピュータの記録装置の中にあるコンテンツの一覧を表示させて、それらの中の任意のコンテンツを利用すること」と全く同様に、コンピュータ・ネットワークを介して、「情報販売元のコンピュータのデータベースの中の自己がアクセス利用権を保有するコンテンツを一覧表示させて、任意のものを選択・指定して利用する」ことができる。また、このようなシステムを導入することにより、情報販売元にとっては、ユーザーに対して、ユーザーがアクセス利用権を保有するコンテンツを情報販売元自身が「管理」代行することになり、ユーザーへの顧客サービスを向上させてユーザーの囲い込み・ユーザーのリピート(再利用)を促すことができるというメリットが得られるようになる。以上の発明は、コンピュータなどの情報端末により利用されるデータは、紙やレコードなどの有体物と異なって、コンピュータなどの情報端末によりユーザーが利用できればよいのであり、どこに記録されようとその価値に変わりはないとい

う発想から導かれたアイデアである。(

【0023】すなわち、このアクセス利用権の設定により、ユーザーは、そのコンテンツを、コンピュータ・ネットワークを介して前記情報販売元のサーバーにアクセスすることにより、いつでも好きなときに何回でも何時間でも利用する権利を取得したことになる。これは、ユーザーにとっては、「いつでも好きなときにそのコンテンツを何時間でも何回でも自由に利用できる」という点で、そのコンテンツのデータを前記サーバーから自己が保有するコンピュータの記録装置にダウンロードして記録することとほとんど同じ効果を生むものである。さらに、単に前記ダウンロードと同じ効果を生むだけでなく、ユーザーは、そのコンテンツのデータの記録により自己のパソコンの記録装置の記録可能な残容量がすぐなくなってしまうということが回避できると共に、前記コンテンツのデータの管理を自分でしなくてはならないという煩わしさからも解放されるという効果が得られるようになる。特に、この請求項1の発明では、前記のように、情報販売元が保有するコンテンツのデータベースの中のユーザーにアクセス利用権が設定されている複数のコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する機能を有しているので、ユーザーは、その情報販売元のサーバーのデータベースを、あたかも「自分が手元で所有し管理するコンピュータの記録装置内のデータベース」と同じように利用することができ、しかもコンテンツの一覧表示までしてくれるので、自分が一覧表示するための作業(データベースソフトウェアへの入力作業など)をしなくて済むようになり、自分がコンテンツのデータをパソコンに取り込んだ場合に生じるコンテンツのデータ管理の負担の発生を回避できるというメリットがある。

【0024】また、従来より、インターネット上のサーバーにカラオケ曲のデータベースを備えておき、「1年間、300曲まで」のカラオケ利用権を4,000円で販売(CD-ROMなどの形で販売)し、購入したユーザーは、このカラオケ利用権に基づいて、インターネットでカラオケ曲を自分のパソコンに読み込んで、カラオケを再生する、というシステムが既に利用されている(住友商事株式会社がインターネットのホームページ(<http://www.clibweb.or.jp>)で提供しているコンテンツの一つ。1996年6月6日付け日本経済新聞の記事「インターネットカラオケ」を参照)。しかし、このカラオケのインターネット利用は、ユーザーにサーバーに記録したカラオケのデータベースを利用させる権利を付与するというだけで、本発明のように、ユーザーがその情報販売元の提供するコンテンツの中のアクセス利用権を保有しているコンテンツを一覧で表示させるという機能(この機能は、単に一覧表示させるというだけでなく、そのユーザーのために「そのユーザーが自由に利用できる複数のコンテンツの保有及び管理を代行する」という意味をも有している)



は備えておらず、この点で又はその他の点でも、本発明とは大きく異なるものである。また、この「カラオケ利用権」は、その楽曲を「何回使用したか、その回数」により課金されるシステムであるため、「ある楽曲を自分の好きなときに課金を気にしないで何回でも何時間でも鑑賞したい」という利用方法には向かないシステムである。このような鑑賞のための利用方法が必要になる映画・音楽・絵画・アニメなどのコンテンツについては、本発明のようなシステムが必要になると考えられる。その点でも、前記の「カラオケ利用権」のシステムは本発明とは大きく異なるシステムだと言える。

【0025】以上のように、前記のアクセス利用権付与により、ユーザーは、あたかも「そのコンテンツのデータの保存と管理を代行してくれるデータ用の貸し倉庫」を得るのと同じメリットが得られる訳であり、あたかも「自分の保有する電子出版物を保管しておく電子書斎」を前記情報販売元のサーバー内に確保したのと同様のメリットを有することになる。このような情報の販売（正確にはコンテンツのアクセス及び利用をする権利の販売）のためのシステムは、コンテンツが紙媒体ではなく電子化されたデータとして記録されるため、情報販売元にとっては、自己のサーバーのデータベースにユーザーによって何度アクセスされてもそのためのコストはゼロに近いこと、及び、情報販売元にとっては、記録するのが紙媒体と異なって電子化されたデータであるため、自己のサーバーのデータベースを「ユーザーのための電子出版物の書斎」として利用させるとしてもそのための特別なコストはゼロに近いこと（これが紙媒体であれば、「ユーザーのための紙媒体からなる出版物を特別に保管する書斎」を設けることは多くのコストを必要とする）から、初めて可能になるものである。

【0026】(2)また、本発明では、前記アクセス利用権は、コンテンツのアクセス及び利用を所定の期間だけ許可することを内容とするものとしてもよい。つまり、請求項1の発明にいう「アクセス利用権」は、「永久」でもよいが、所定の有効期間を設けてもよい。その場合、この有効期間を示すデータを前記アクセス利用権のデータの中に入れられれば便利である。こうすれば、情報販売元は、ユーザーからの要求により、現在まだ有効期間内にあるアクセス利用権が設定されたコンテンツの一覧を表示すると共に、既にアクセス利用権の有効期間が経過して消滅しているコンテンツの一覧表示をして、ユーザーの便宜を図ることが可能による。

【0027】(3)また、請求項3の発明のコンテンツ販売システムでは、ユーザーがコンテンツのアクセス利用権の申込みをしたとき、そのコンテンツへのアクセス利用権を所定期間だけ付与するようにしている。そして、

ユーザーは、このアクセス利用権が設定されたコンテンツを利用したくなったときは、コンピュータ・ネットワークを介してその情報販売元に接続してその要求をすることによって、情報販売元がデータを保有するコンテンツのデータベースの一部を、あたかも自己のもののように利用することができる。

【0028】また、ユーザーは、あるコンテンツについてのアクセス利用を、「永久」にしたいとは思わないことが多い。なぜなら、新しいコンテンツは次々に生まれて行くからである。だから、コンテンツをパッケージの形で購入する場合、購入から時間が経過していくに連れて、利用されないまま「死蔵」されたパッケージが増えて行くことになり、膨大な数のパッケージの中で必要なパッケージが見つからなくなるという問題（検索のための管理の問題）が生じる。これは、コンテンツをパソコンのハードディスクにデータとして記録していく場合も、程度の差はあれ生じる問題である。本発明では、アクセス利用権に「有効期間」を付けることにしているの、アクセス利用権の「死蔵」が防止されるようになる。また、ユーザーにとっても、「有効期間」を付けることにより、利用しなくなった後の期間についてまでコンテンツの対価を支払わなくてよいというメリットがある。以上のように、本発明による「コンテンツの販売」を「コンテンツ提供側のデータベースの一部へのアクセス利用権の販売」として構成し、しかも、このアクセス利用権を所定の「有効期間」を有するものとして構成するシステムは、コンテンツ提供側にとっても、ユーザー側にとっても、大きなメリットを生み出すものなのである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施形態1の構成を説明するための概念図である。

【図2】 実施形態1の動作を説明するためのフローチャートである。

【図3】 実施形態1の動作を説明するためのフローチャートである。

【図4】 実施形態1で情報販売元がユーザーのために行うコンテンツの一覧表示の例を示す図である。

【図5】 本発明の実施形態2の動作を説明するためのフローチャートである。

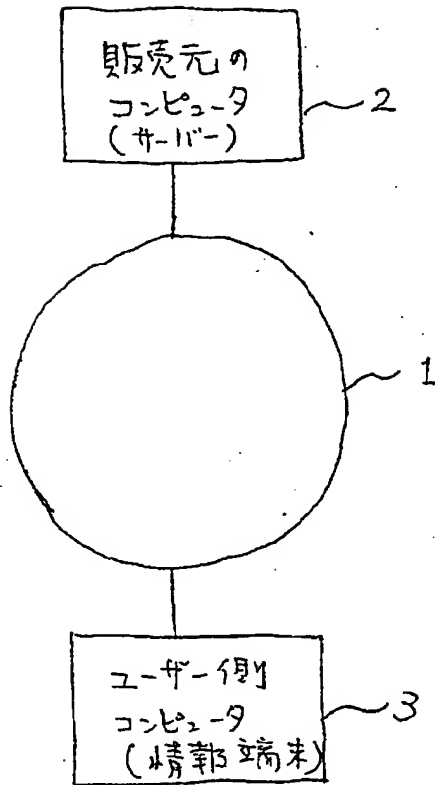
【図6】 実施形態2の動作を説明するためのフローチャートである。

#### 【符号の説明】

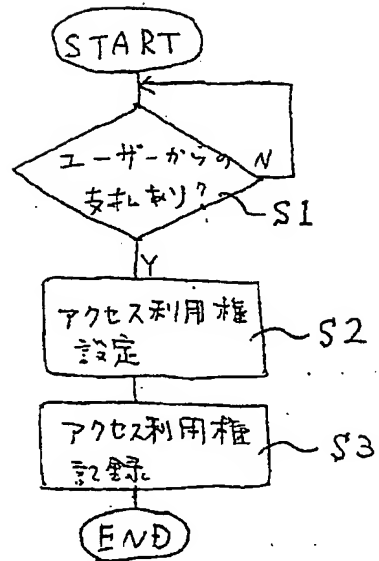
- 1 コンピュータ・ネットワーク
- 2 情報販売元のサーバー（コンピュータ）
- 3 ユーザーのコンピュータ（情報端末）



【図1】



【図2】

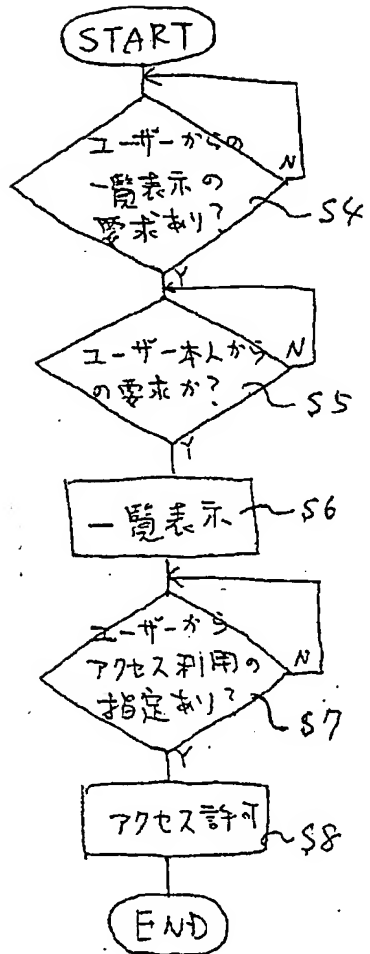


【図4】

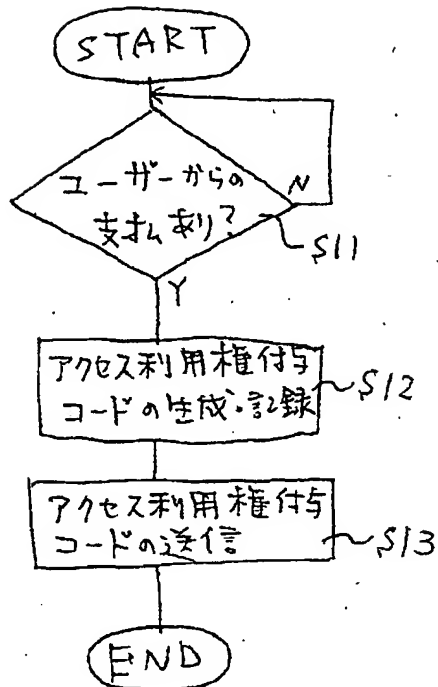
ユーザー名: 甲斐子太郎

No	ジャンル	タイトル	備考	有効期間
1	映画	カサブランカ		1992.2.1 ~1997.2.1
2	映画	第3の男		1993.2.10 ~1998.2.10
3	映画	風と共に去りぬ	米国	1993.5.1 ~1998.5.1
4	TV番組	アトランタ5輪 女子マラソン	1996年オリンピック	1996.9.1 ~2001.9.1
5	TV番組	秀吉	1996年NHK大河ドラマ	1996.10.10 ~2001.10.10
6	TV番組	ひまわり	1996年NHK朝ドラ2	1996.11.1 ~2001.11.1
7	アニメ	となりのトトロ	1990年 00社制作	1995.3.1 ~2000.3.1

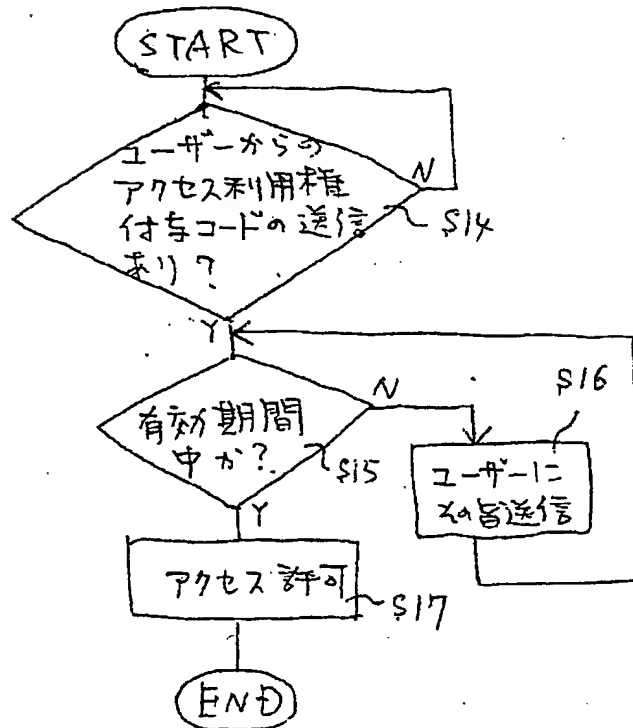
【図3】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 15/403

3 1 0 A

## MACHINE-ASSISTED TRANSLATION (MAT):

(19)【発行国】

日本国特許庁 (J P)

(19)[ISSUING COUNTRY]

Japan Patent Office (JP)

(12)【公報種別】

公開特許公報 (A)

(12)[GAZETTE CATEGORY]

Laid-open Kokai Patent (A)

(11)【公開番号】

特開平 10-124586

(11)[KOKAI NUMBER]

Unexamined Japanese Patent Heisei  
10-124586

(43)【公開日】

平成10年(1998)5月1  
5日

(43)[DATE OF FIRST PUBLICATION]

May 15, Heisei 10 (1998. 5.15)

(54)【発明の名称】

コンテンツ販売システム

(54)[TITLE OF THE INVENTION]

Content selling system

(51)【国際特許分類第6版】

G06F 17/60

9/06 550

12/14 320

17/30

(51)[IPC INT. CL. 6]

G06F 17/60

9/06 550

12/14 320

17/30

【F I】

G06F 15/21 330

9/06 550 G

12/14 320 C

15/40 320 B

370 G

15/403 310 A

[FI]

G06F 15/21 330

9/06 550 G

12/14 320 C

15/40 320 B

370 G

15/403 310 A

【審査請求】 未請求

[REQUEST FOR EXAMINATION] No

【請求項の数】 3

[NUMBER OF CLAIMS] 3

【出願形態】 F D

[FORM of APPLICATION] Electronic

【全頁数】 1 1

[NUMBER OF PAGES] 11

(21) 【出願番号】

特願平 8-283061

(21)[APPLICATION NUMBER]

Japanese Patent Application Heisei 8-283061

(22) 【出願日】

平成 8 年 ( 1 9 9 6 ) 1 0 月 3  
日

(22)[DATE OF FILING]

October 3, Heisei 8 (1996. 10.3)

(31) 【優先権主張番号】

特願平 8-247058

(31)[FOREIGN PRIORITY APPLICATION  
NUMBER]

Japanese Patent Application Heisei 8-247058

(32) 【優先日】

平 8 ( 1 9 9 6 ) 8 月 2 8 日

(32)[FOREIGN PRIORITY DATE]

August 28, Heisei 8 (1996. 8.28)

(33) 【優先権主張国】

日本 ( J P )

(33)[COUNTRY OF FOREIGN PRIORITY]

(JP)

(71) 【出願人】

(71)[PATENTEE/ASSIGNEE]

【識別番号】

595100934

[ID CODE]

595100934

【氏名又は名称】

鯨田 雅信

[NAME OR APPELLATION]

Kujirada Masanobu

【住所又は居所】

[ADDRESS OR DOMICILE]

(72) 【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】  
 鯨田 雅信

**[NAME OR APPELLATION]**  
 Kujirada Masanobu

【住所又は居所】

**[ADDRESS OR DOMICILE]**

(57) 【要約】

**(57)[ABSTRACT OF THE DISCLOSURE]**

【課題】

ユーザーのコンピュータのハードディスク等の記録装置の容量の限界の問題をクリアできるネットワークを介した情報の販売システムを提供する。

**[SUBJECT OF THE INVENTION]**

Selling system of information through network which can clear problem of limit of capacity of recording devices, such as hard disk of user's computer, is provided.

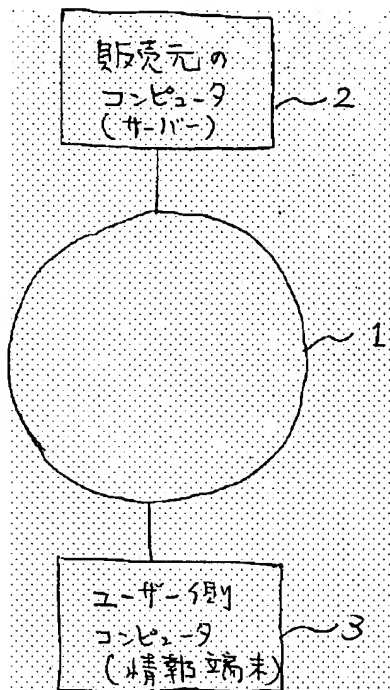
【解決手段】

各カタログコードによってそれぞれ特定されるコンテンツを蓄積したデータベースと、ユーザーが前記カタログコードによって特定されるコンテンツのアクセス利用権の代金支払いを行ったとき、前記ユーザーについて、前記の代金支払いが行われたコンテンツへのアクセス利用権を付与することを、前記データベースに記録するか又は前記データベースに関連させて記録する手段と、ユーザーからの要求に基づいて、前記データベースから、前記ユーザーにアクセス利用権が付与されているコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する手段と、前記ユーザ

**[PROBLEM TO BE SOLVED]**

A means to record on said database, or to relate to said database providing right of access utilization to content to which the above-mentioned money payment was performed, and to record it about said user when user performs money payment of right of access utilization of content specified by said catalog coding, database which accumulated content each specified by each catalog coding, a Means to display as a list content or title of content in which said user provides right of access utilization from said database based on request from user, and a Means to permit that user does access utilization to content based on the title when said user designates either of said titles which it displayed as a list are comprised.

一が前記一覧表示されたタイトルのいずれかを指定したとき、ユーザーがそのタイトルに係るコンテンツに対してアクセス利用することを許可する手段と、を含むものである。



2- Computer of selling agency (server)

3- User side computer (information terminal)

#### 【特許請求の範囲】

#### [CLAIMS]

##### 【請求項1】

コンピュータ・ネットワークに接続されており、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツ（情報の内容）を多数蓄積しているデータベースと、

##### [CLAIM 1]

Content selling system comprising right setting means of access utilization set up right of access utilization for also accessing and utilizing also how many times or in between when to said user about the content for which it applied when user proposes to setup of right of



ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのいずれかについてアクセス利用権の設定の申込みをしたとき、前記ユーザーに対して、その申込まれたコンテンツについて何回でもまた何時間でもアクセスして利用するためのアクセス利用権を設定するアクセス利用権設定手段と、

前記アクセス利用権の設定をしたとき、このアクセス利用権が設定されたことを、前記ユーザーのIDコード（識別コード）及び前記コンテンツの識別コードなどに関連させて記録する関連記録手段と、

ユーザーからコンピュータ・ネットワークを介して要求があったとき、そのユーザーのIDコードをキーとして、前記関連記録手段から、前記ユーザーにアクセス利用権が設定されているコンテンツのタイトル等を一覧表示する手段と、

前記ユーザーがコンピュータ・ネットワークを介して前記一覧表示されたコンテンツの中のいずれかを指定したとき、ユーザーが前記データベース中のそのコンテンツにアクセスしてこれを利用することを、許可する手段と、を含むコンテンツ販売システム。

access utilization about either of content specified by said identification code, database which accumulates much content (the content of information) which is connected to computer \* network and is each specified by each identification code, and

Related recording means to relate that this right of access utilization is set up with ID coding (identification code) of said user, identification code of said content, etc., and to record it when setting up said right of access utilization, means to display as a list title of content by which right of access utilization is assigned to said user etc. from said related recording means by using ID coding of the user as key when there is request through computer \* network from user, and a Means to permit that user accesses the content in said database, and utilizes this when said user designates either of said content which it displayed as a list through computer \* network.

【請求項2】

[CLAIM 2]

コンピュータ・ネットワークに接続されており、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツ（情報の内容）を多数蓄積しているデータベースと、

ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのいずれかのアクセス利用権の設定の申込みをしたとき、前記ユーザーに対して、所定の有効期間内においては、その申込まれたコンテンツについて何回でもまた何時間でもアクセスして利用することを許可するアクセス利用権を設定するアクセス利用権設定手段と、

前記アクセス利用権の設定をしたとき、このアクセス利用権が設定されたことを、前記ユーザーのIDコード、前記コンテンツの識別コード、及び前記アクセス利用権の有効期間を示すデータと関連させて記録する関連記録手段と、

ユーザーからあるコンテンツのアクセス利用の要求が送信されてきたとき、前記関連記録手段を参照して、そのユーザーのそのコンテンツについてのアクセス利用権がまだ有効期間内であるかどうかを判定する手段と、この判定手段によりまだ有効期間内であると判定されたときは、前記ユーザーが前記データベースを通じて前記コンテンツ

Database which accumulates much content (the content of information) which is connected to computer \* network and is each specified by each identification code, right setting means of access utilization to set up right of access utilization which permits also accessing and utilizing also how many times or in between when within fixed validity about the content for which it applied to said user when user proposes to setup of right of access utilization in any one of content specified by said identification code, related recording means to relate that this right of access utilization is set up with data in which ID coding of said user, identification code of said content, and validity of said right of access utilization are shown, and to record it when setting up said right of access utilization, means to judge whether right of access utilization about the content of the user is still within validity with reference to said related recording means when request of access utilization of a certain content has been transmitted from user, it is content selling system including means to permit that said user accesses said content through said database, and utilizes this when judged with it being still within validity by this evaluation means.

にアクセスしてこれを利用することを、許可する手段と、を含むコンテンツ販売システム。

**【請求項3】**

請求項2において、さらに、ユーザーから自己が現在アクセス利用権を保有しているコンテンツ又は自己が過去に（有効期間が切れる前に）アクセス利用権を保有していたコンテンツを一覧で表示して欲しいとの要求があったときは、前記ユーザーのIDコードをキーとして、前記関連記録手段から、ユーザーのために前記コンテンツのタイトル等を一覧表示する手段、を含むことを特徴とするコンテンツ販売システム。

**【0001】****【発明の詳細な説明】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、インターネットなどのコンピュータネットワークを利用したコンテンツ（情報の内容）の販売システムに関し、より正確には、テレビ番組、電子雑誌・電子新聞の記事、映画、音楽、演劇の記録映像、絵画の記録映像などのさまざまなコンテンツ（情報の内容）にアクセ

**[CLAIM 3]**

In Claim 2, furthermore, content selling system comprising Means to display title of said content etc. as a list from said related recording means by using ID coding of said user as key for user to Content or self in which self retains right of the present access utilization from user is in the past (before validity cuts) When request to display content which retained right of access utilization by list,

**[0001]****[DETAILED DESCRIPTION OF THE INVENTION]****[TECHNICAL FIELD OF THE INVENTION]**

This invention relates to selling system of content (the content of information) using computer networks, such as Internet, it is related with system which sells right to access various content (the content of information), such as report of TV program and electronic magazine \* electronic newspaper, movie, music, recording imaging of theater, and recording imaging of pictures, and to utilize this

スしてこれを利用する権利を販売するシステムに関する。

for accuracy more.

【0002】

[0002]

【従来の技術】

従来より、インターネットなどのコンピュータネットワーク上で、電子マネーを使用した情報の販売が実験又は実施されている。この従来の情報の販売は、例えばコンピュータ用プログラム（などのソフトウェア）の販売として、次のように行われる。すなわち、まず、プログラムの売り手がインターネットにホームページを開設して、そこにプログラムの販売条件を表示する。ユーザーはインターネットに接続してそのホームページにアクセスし、購入したいプログラムを選択して指定する（マウスなどのポインティングデバイスでクリックする）。そして、その代金をクレジットカードを利用して支払う（一部では、この支払いを電子マネーを送信することにより行う例もある）。この代金支払いをしてから、ユーザーは、該当するプログラムをデジタルデータの形で受信して自己のパソコンにダウンロードする。これにより、プログラムの販売が終了する（「シェアウェア」などと呼ばれる）。なお、代金支払いの前に、プログラムの

[PRIOR ART]

Conventionally, merchandising of information which uses cybermoney is experimented in it or implemented on computer networks, such as Internet.

Merchandising of this conventional information is performed as follows as merchandising of for example, program for computers (etc. of software).

That is, seller of program opens homepage on Internet first, sales terms of program are displayed there.

User accesses Internet and accesses the homepage, program to purchase is chosen and designated (it clicks with pointing devices, such as mouse).

And that money is paid using credit card (partly, there is also example which performs this payment by transmitting cybermoney).

After carrying out this money payment, user receives corresponding program in form of digital data, and downloads in self personal computer.

Thereby, merchandising of program is completed (called "shareware" etc.).

In addition, before money payment, data of program are enciphered and it transmits, when payment of money is made from user, there is also method of transmitting code key \* data for decoding the above-mentioned code.

データを暗号化して送信し、ユーザーから代金の支払いがあったとき、前記の暗号を解読するための暗号キー・データを送信するというやり方もある。

**【0003】**

以上のような情報の販売方法は、例えば、米国のE-DATA社が1983年1月10日に出願し、1985年7月9日に発行された米国特許（米国特許番号4,528,643）により、既に特許されている。この特許は、ソフトウェアの配布に関する特許である。その内容は、カタログコードによって特定される情報を記録した情報再生装置を用いて、ユーザーの物理的媒体上に情報を再生する方法であって、情報を特定するためのカタログコードを含む再生要求コードをユーザーから受信したとき、その再生要求コードに含まれるカタログコードによって特定される情報の再生を承認する承認コードを発生させ、前記承認コードをユーザーから受信したとき、前記カタログコードによって特定される情報をユーザーの物理的媒体に再生させる、というものである。この特許の保護範囲については、その解釈は様々であろうが、例えば、コンピュータ・ネットワークを介して、プログラムや音楽情報

**[0003]**

E-DATA of USA applies for sales method of the above information on January 10, 1983, it is already patented by US Patent (US Patent number 4,528,643) published on July 9, 1985. This patent is patent about distribution of software.

The content is the method of regenerating information on user's physical medium using information regenerative apparatus on which was recorded information specified by catalog coding, comprised such that when reproduction request coding including catalog coding for specifying information is received from user, approval coding which recognizes reproduction of information specified by catalog coding included in the reproduction request coding is generated.

When said approval coding is received from user, user's physical medium is made to regenerate information specified by said catalog coding.

Probably, about scope of the protection of this patent, that interpretation will be various.

For example, through computer \* network, program, music information, etc. are enciphered and it transmits, hard disk of computer which user retains is made to download the data.

Action which performs merchandising of information after that by the method of making

等を暗号化して送信し、そのデータをユーザーが保有するコンピュータのハードディスクにダウンロードさせ、その後、暗号キー等によって前記暗号化されたデータを使用可能とする方法で情報の販売を行う行為は、この特許の保護範囲に含まれる、とする意見もある（以上、1996年7月22日発行の日刊工業新聞の記事「米で特許侵害の恐れ。暗号キーを使ったインターネットなどでのソフト販売」を参照。また、インターネットのホームページ <http://www.patents.com/ige.sht> を参照）。以上の方法は、要は、ソフトウェア等のコンテンツの全体をまず送信してダウンロードさせた上で、確実に費用を回収する点にポイントがある。また、ソフトウェアの「超流通」というソフトウェア流通方法も提案されている。この方法は、例えば、特公平6-28030号公報、特公平6-19707号公報、特公平6-95302号公報及び特開昭64-68835号公報などに開示されている。要約すれば、ユーザー側の端末に専用のハードウェアを取り付けて、ユーザーが購入したソフトウェアを使用したときは、その使用時間に応じて課金していくとするものである。この方法につい

useable said enciphered data by code key etc. also has opinion it is supposed that is contained in scope of the protection of this patent (being report "rice of Nikkankogyo Shinbun Co. of July 22, 1996 issue above fear of patent infringement.).

See the soft merchandising in Internet using code key etc."

Moreover, see the homepage <http://www.patents.com/ige.sht> of Internet.

In short, the above method has point in point of collecting expense reliably, after transmitting first and downloading whole content, such as software.

Moreover, the software circulation method of the "over circulation" of software is also proposed.

This method is disclosed by Japanese Patent Publication No. 6-28030, 6-19707, 6-95302, Unexamined-Japanese-Patent No. 64-68835, etc.

If it summarizes, hardware of exclusive use will be attached to users' terminal, when you use software which user purchased, suppose that it charges according to the time.

It considers charging reliably in short, also about this method, according to time, after transmitting first and downloading whole content, such as software, as point.

でも、要は、ソフトウェア等のコンテンツの全体をまず送信してダウンロードさせた上で、使用時間に応じて確実に課金していくことをポイントとしている。

**【 0 0 0 4 】****【発明が解決しようとする課題】**

上述したような従来のソフトウェア販売は、いずれも、ソフトウェアの販売元からユーザーにソフトウェアのデータを送信し、ユーザーのコンピュータのハードディスクにダウンロードさせる、というものである。しかしながら、ユーザーのコンピュータのハードディスクの記憶容量には限界があるので、プログラムなどの文字データではなく映画やテレビ番組などの画像データを含むコンテンツについては、送信する方法だけではユーザーのコンピュータのハードディスクの容量がすぐ一杯になってしまうという容量不足の問題が生じる可能性が高い。また、前述のような「超流通」についても、コンテンツの種類によっては、適しない場合がある。具体的には、次のとおりである。

**【 0 0 0 5 】**

プログラムなどのビジネスに使

**[0004]****[PROBLEM TO BE SOLVED BY THE INVENTION]**

Each conventional above-mentioned software merchandising transmits data of software to user from selling agency of software, hard disk of user's computer is made to download.

However, there is limit in memory capacity of hard disk user's computer.

Therefore, about content containing image data, such as not character data but movies, such as program, and TV program, possibility that problem that capacity of hard disk user's computer will fill immediately only with the method of transmitting and that capacity is insufficient will arise is high.

Moreover, depending on kind of content, it may not be suitable about the above "over circulation."

Specifically, it is as follows.

**[0005]**

About software used for business, such as



用するソフトウェアについては、上記の「超流通」などのように、「使用時間」に応じた課金という方法は妥当といえる。しかし、映画、アニメ、漫画、小説、絵画、音楽などの芸術や人間の趣味にかかわるコンテンツは、単純に「使用時間」などで決めるのは、利用者の利用実態と掛け離れたものになってしまう。なぜなら、映画、アニメ、漫画、小説、絵画、音楽などの鑑賞にあたっては、人によっては、一つの映画やアニメの中のある一つの場面を何時間でも何回でも見たいという人とそうではない人があるし、印象派の画家による絵画の中のある絵画について何時間でも何回でも見たいという人もいる。音楽についても、一つの楽曲の中のあるフレーズの部分だけ何回でも聴きたいという人もいるし、ある楽曲は自分の卒業式や結婚式のとき、の場面で流れていてその楽曲については特別の思い出があるので、卒業式のシーズンや結婚式記念日には何回でも何時間でも聴きたいという人もいる。そのような、一つのコンテンツについて、またそのコンテンツの中の一部について特別の「思い出」「こだわり」のある人は少なくない。そういう人にとっては、そういう「思い出」「こだわり」のある映画、アニメ、漫

program, it can be said like the above-mentioned "over circulation" that method of charging according to "time" is appropriate.

However, deciding simply content in connection with art, such as movie, animation, comics, novel, pictures, and music, or human being's hobby by "time" etc. will become user's utilization actual condition and thing which was widely different.

Because, in appreciation of movie, animation, comics, novel, pictures, music, etc., there are person who wants for some persons to see one certain scene in one movie or animation between or any number of times when, and person who is not so.

There are some persons who want to see between or any number of times when about a certain pictures in pictures by painter of impressionist school.

Also about music, there are some persons who want to hear only part of a certain phrase in one music any number of times.

A certain music flows in scene at the time of its graduation ceremony or marriage ceremony, and has special recollections about the music.

Therefore, on season and marriage ceremony memorial day of graduation ceremony, there are some persons who want to hear it also many times.

There are many people who have special "intensity" about part in the content and "prejudice" about such one content.

For such a person, movie with such "intensity" and "prejudice", about content of kinds, such as animation, comics, novel, pictures, and music Package recorded on CD-ROM etc. is

画、小説、絵画、音楽などの種類のコンテンツについては、CD-ROMなどに記録されたパッケージを購入して好きなときに「使用時間」や「使用回数」などに関係なく、自分の好きなときに何時間でも何回でも繰り返し鑑賞したいと思うものである。つまり、こういう種類のコンテンツを「鑑賞」するときに、前記のような「超流通」のようなシステムでは、「使用時間」や「使用回数」でどんどん課金されてしまうので課金が気になって「ムードが出ない」「落ち着いて鑑賞できない」「作品に没入・感情移入できない」ということになる。そこで、「ゆっくり鑑賞に浸る」ことを可能にするには、コンテンツの購入についてもパッケージの形態が適している、ということになりそうである。しかし、パッケージの形態での購入についても、次のような問題がある。すなわち、パッケージの形態でコンテンツを購入した場合、それは従来の「書籍」や「レコード」と同様に、書棚やラックなどの物理空間に「収納」する必要があるが、コンテンツのパッケージの数が増えるとその「収納のための物理スペース」の確保が難しくなるといふ問題がある。また、仮に「収納のための物理スペース」の点を置くとしても、パッケージの

purchased, and when desired, want to appreciate regardless of "time", "frequency in use", etc. repeatedly any number of times.

That is, in system like the above "over circulation", when "appreciating" such kinds of content, since it will charge rapidly with "time" and "frequency in use", charging is worrisome and it is said "mood does not come out", "it cannot appreciate calmly", and "devotion \* empathy cannot be made to work."

So, in order to make possible what "is slowly immersed in appreciation", it will be said that form of package is suitable also about the purchasing of content.

However, there are the following problems also about purchasing with form of package.

That is, when content is purchased with form of package, similar to "publication" and "record" of past, it is necessary to store to physical space, such as bookshelf and rack.

When the number of packages of content increases, there is problem that reservation of the "physical space for housing" becomes difficult.

Moreover, even if it puts point of "physical space for housing", when the number of packages will increase, there is problem (problem that "search becomes difficult so to speak") that it will not be clear anymore what kind of content is where (in life of individual, this poses major problem about conventional publication and conventional record except for specialized agencies, such as library).

Then, it does not purchase in form of package but purchases as data electronized through computer \* network, if it is recorded on hard

数が多くなると、どこにどんなコンテンツがあるのか分からなくなってしまうという問題（いわば「検索が困難になるという問題」）がある（図書館などの専門機関は別として、個人の生活においては、従来の書籍やレコードについてこれは大きな問題となっている）。それでは、パッケージの形で購入するのではなく、コンピュータ・ネットワークを介して電子化されたデータとして購入して、それをユーザーのパソコン（パーソナル・コンピュータ）のハードディスクに記録しておけば、前記「収納のための物理スペースの不足の問題」や「検索が困難という問題」も、ある程度解決できそうである。しかし、ユーザーのパソコンのハードディスクへの記録については、特に映画やアニメなどの画像データから成るコンテンツは情報量が膨大になるため、そのハードディスクの容量がすぐ一杯になってしまうという問題（容量不足の問題）がある。

disk of user's personal computer (personal \* computer), said "one problem of insufficient physical space for housing" and "problem of difficulty in search" are likely to be solvable to some extent.

However, in particular about recording to hard disk of user's personal computer, since amount of information becomes huge, content which constitutes of image data, such as movie and animation, has problem (problem that capacity is insufficient) that capacity of the hard disk will fill immediately.

#### 【0006】

本発明は以上のような従来技術の課題に着目してなされたもので、映画、アニメ、漫画、小説、絵画、音楽などのような、ユーザーが「使用時間」や「使用回数」などに煩わされることなく、

#### [0006]

This invention is made paying attention to subject of the above prior arts, movie, animation, comics, novel, pictures, music, etc. are needed, without user troubles to "time", "frequency in use", etc., when desired, it is selling system appropriate to content of kind for

自分の好きなときに「何時間でも何回でも」繰り返して「ゆっくり鑑賞に浸りたい」と希望するような種類のコンテンツに適した販売システムであって、しかも、ユーザーの端末側の記録装置（ハードディスクなど）の容量不足の問題をも回避することができる、コンテンツの販売システムを提供することを目的とする。

which it repeats "How many hours or any number of times" and wishes "I want to be slowly immersed in appreciation.", comprised such that and it aims at providing selling system of content which can also avoid problem that capacity of recording devices by the side of user's terminal (hard disk etc.) is insufficient.

## 【0007】

## [0007]

## 【課題を解決するための手段】

## [MEANS TO SOLVE THE PROBLEM]

(1) 以上のような課題を解決するための本発明によるコンテンツ販売システムは、コンピュータ・ネットワークに接続され、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツを多数蓄積したデータベースと、ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのアクセス利用権の設定の申込みをしたとき、前記ユーザーについて、前記の申込みされたコンテンツへのアクセス利用権を設定することを、ユーザーID（ユーザーのIDコード）やコンテンツの識別コードなどに関連付けて記録する関連記録手段（この関連記録手段は、前記データベース内の所定領域に記録されるか又は前記データベースとは別個にこのデータベースに関連させて

(1) Content selling system by this invention for solving the above subjects is connected to computer \* network, database which accumulated much content each specified by each identification code, and when user proposes to setup of right of access utilization of content specified by said identification code, about said user, right of access utilization to above-mentioned content to which it was proposed is set up, related recording means to relate with User ID (ID coding of user), identification code of content, etc., and to record (this related recording means)

Recording on fixed region in said database, or making it separately related with said database to this database, and recording is good, means to display as a list content or title of content by which right of access utilization is assigned to said user from said related recording means based on request through computer \* network from user, when said user designates either of

記録されるのがよい) と、ユーザーからのコンピュータ・ネットワークを介した要求に基づいて、前記関連記録手段から、前記ユーザーにアクセス利用権が設定されているコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する手段と、前記ユーザーが前記一覧表示されたコンテンツのいずれかを指定したとき、ユーザーがそのコンテンツに対してアクセスし利用することを許可する手段と、を含むものである。なお、この発明においては、前記アクセス利用権の有効期間は、所定の期間に限定してもよいし、限定しないで「永久」又は「終身」としてもよい。また、本発明では、前記アクセス利用権は、コンテンツのアクセス及び利用を所定の期間だけ許可し、その期間内なら何回でも何時間でもアクセス利用を認めることを内容とするものであるのがよい。

#### 【0008】

(2) また、本発明のコンテンツ販売システムは、コンピュータ・ネットワークに接続され、各識別コードによってそれぞれ特定されるコンテンツを多数蓄積したデータベースと、ユーザーが前記識別コードによって特定されるコンテンツのアクセス利用権の申込みをしたとき、前記ユ

said content which it displayed as a list, means to permit that user accesses and utilizes to the content are included.

In addition, in this invention, it may limit validity of said right of access utilization to fixed period, or it is good also as [ "permanent" ] or [ "life" ] without limiting.

Moreover, said right of access utilization permits access and utilization of content only fixed period in this invention, if it is in the period, it is good that it is what makes it content to observe access utilization also how many times or in between when.

#### [0008]

(2) Moreover, content selling system of this invention is connected to computer \* network, right setting means of access utilization by which only fixed validity sets up right of access utilization to database which accumulated much content each specified by each identification code, and content to which it applied for above about said user when user proposed to right of access utilization of content specified by said

ユーザーについて、前記の申込みされたコンテンツへのアクセス利用権を所定の有効期間だけ設定するアクセス利用権設定手段と、前記アクセス利用権の設定を、その有効期間やそのユーザーのIDコード（識別コード）やそのコンテンツの識別コードなどに関連させて記録される関連記録手段（この関連記録手段は、前記データベース内の所定領域に記録するか又は前記データベースとは別個にこのデータベースに関連させて記録されるのがよい）と、ユーザーからのあるコンテンツのアクセス利用の要求に基づいて、そのコンテンツについてユーザーが保有するアクセス利用権の有効期間がまだ満了していないかどうかを判定する手段と、この判定結果に基づいて、前記ユーザーが前記データベースを通じて、前記アクセス利用権が設定されたコンテンツに対してアクセスし利用することを許可する手段と、を含むものである。

(3)また、上記(2)において、さらに、ユーザーから自分が現在アクセス利用権を保有しているコンテンツ又は過去に（有効期間が切れる前に）アクセス利用権を保有していたコンテンツを一覧で表示してほしいとの要求があったときは、その要求に基づいて前記コンテンツのタイトル

identification code, related recording means which setup of said right of access utilization is related with the validity, ID coding (identification code) of the user, identification code of the content, etc., and are recorded

(these related recording means are good to record on fixed region in said database, or to make it separately related with said database to this database, and to record), means to judge whether validity of right of access utilization which user retains about the content expires yet based on request of access utilization of content which exists from user, means to permit that said user accesses and utilizes through said database to content to which said right of access utilization was set based on this evaluation result

Are comprised.

(3) Moreover, set to said (2), furthermore, when there is request that I want me to display from user content which retained right of access (before validity cuts) utilization by list on content which retains right of the present access utilization, or past, it is desirable to include means to display title of said content etc. as a list based on the request.

等を一覧表示する手段を含むことが望ましい。

**【0009】****【発明の実施の形態】**

実施の形態1 図1は本発明の実施形態1に使用されるコンピュータ・ネットワークを示す概念図である。図1において、1はインターネットなどのコンピュータ・ネットワーク、2はこのコンピュータ・ネットワーク1に接続された情報販売元のコンピュータ(サーバー)、3はこのコンピュータ・ネットワーク1に接続されたユーザーのコンピュータ(情報端末)である。前記サーバー2を保有する情報販売元としては、典型的には、映画会社、出版社、新聞社、テレビ局、レコード会社、音楽CD(コンパクトディスク)の販売・レンタル会社、データベース会社などのコンテンツ制作販売業者と、日本音楽著作権協会(JASRAC)などの著作権管理機関などの公的機関とが含まれ得る。

**【0010】**

本実施形態1によるコンテンツ販売システムは、前記情報販売元のコンピュータ2を使用して形成される。この販売元のコンピュータ2の記録装置には、販

**[0009]****[EMBODIMENT OF THE INVENTION]**

Embodiment 1. FIG. 1 is conceptual diagram showing computer \* network used for Embodiment 1 of this invention.

In FIG. 1, computer (server) of information selling agency by which 1 was connected to computer \* networks, such as Internet, and 2 was connected to this computer \* network 1, and 3 are user's computers (information terminal) connected to this computer \* network 1.

Typically as an information selling agency which retains said server 2, content work distributive trade companies, such as movie company, publishing company, newspaper publishing company, television station, music company, selling \* rental firm of Music CD (compact disk), and database firm, and public institutions, such as copyright management-unit Seki, such as Japanese Society of Rights of Authors and Composers (JASRAC), may be included.

**[0010]**

Content selling system by this Embodiment 1 is formed using computer 2 of said information selling agency.

Database of content which selling agency treats is accumulated in recording device of computer



売元が扱うコンテンツのデータベースが蓄積されている。また、この販売元のコンピュータ 2 は、ユーザーに対してコンテンツのアクセス利用権を設定する手段と、このアクセス利用権の内容をデータベースに（又はデータベースと関連させて）記録する手段と、ユーザー毎にそのユーザーがアクセス利用権を保有しているコンテンツの内容又はタイトルを一覧で表示する手段と、ユーザーに対して所定のコンテンツのアクセス利用を許可する手段とを実現している。

2 of this selling agency.

Moreover, computers 2 of this selling agency are means to set up right of access utilization of content to user, means which record the content of this right of access utilization at database (or it is connected with database), means by which the user displays content or title of content which retains right of access utilization by list for every user, means to permit access utilization of fixed content to user are implemented.

#### 【0011】

次に、この実施形態 1 の動作を図 2、図 3 及び図 4 を参照して説明する。まず、ユーザーに所定のコンテンツのアクセス利用権を設定する動作を図 2 のフローチャートに基づいて説明する。ユーザーがコンテンツのアクセス利用権を取得したいと思うときは、コンピュータ・ネットワーク 1 を介して情報販売元のコンピュータ 2 に接続し、そのホームページを閲覧する。ユーザーは、そのホームページにある提供可能なコンテンツの一覧を見ながら、希望するコンテンツを選択（マウスなどのポインティングデバイスでクリック）し、その代金を、例えばクレジットカードによる支払いが

#### [0011]

Next, operation of this Embodiment 1 is demonstrated with reference to FIG.2, FIG3 and FIG4.

First, operation which sets up right of access utilization of fixed content is demonstrated to user based on flowchart of FIG. 2.

When user wants to acquire right of access utilization of content, it connects with computer 2 of information selling agency through computer \* network 1, the homepage is browsed.

Content to wish is chosen while user looks at list of content in the homepage which can be provided (it clicks with pointing devices, such as mouse), the money is paid by payment according payment squid or cybermoney by credit card to transmission.

Computer 2 of said selling agency will newly set up the user's right of access utilization about the

又は電子マネーを送信による支払いにより、支払う。前記販売元のコンピュータ 2 は、その支払いがあったことを確認すると (図 2 のステップ S 1)、そのコンテンツについてそのユーザーのアクセス利用権を新たに設定する (同ステップ S 2)。そして、この設定したアクセス利用権の内容を、前記ユーザー及びコンテンツと関連付けて、前記データベースに記録する (同ステップ S 3)。なお、この場合、前記の設定したアクセス利用権の設定確認通知をユーザーに送信するか否かは、場合により異なる。ユーザーがそれを希望するときは送信するが、希望しないときは送信しなくてよい。特に、前記の日本音楽著作権協会 (J A S R A C) などの公的機関やそれに準じた大手企業が情報販売元である場合は、社会的信用性が高いので、ユーザーはアクセス利用権の設定確認通知の送信を希望しない場合も有り得る。

#### 【0012】

このアクセス利用権の設定により、ユーザーは、そのコンテンツを、コンピュータ・ネットワークを介して前記情報販売元のサーバーにアクセスすることにより、そのコンテンツを、いつでも好きなときに、何時間でも何回でも、利用する権利を取得

content, if it checks that the payment has been made (step S1 of FIG. 2) (this step S2).

And the content of this set-up right of access utilization is related with said user and content, and is recorded on said database (this step S3). In addition, whether setting confirmative advice of the set-up above-mentioned right of access utilization is transmitted to user in this case changes with cases.

It transmits, when user wishes it.

However, when you do not wish, it is not necessary to transmit.

Since social credibility is high in particular when major company according to public institutions, such as above-mentioned Japanese Society of Rights of Authors and Composers (JASRAC), or it is information selling agency, user is possible also when you do not wish transmission of setting confirmative advice of right of access utilization.

#### [0012]

By setup of this right of access utilization, user acquired right to utilize that content between or any number of times when you like always, by accessing that content through computer \* network at server of said information selling agency.

This induces for user the almost same effect as "downloading and recording data of the content

したことになる。これは、ユーザーにとっては、「いつでも好きなときにそのコンテンツを直ちに、何回でも何時間でも、利用できる」という点で、「そのコンテンツのデータを前記サーバーから自己が保有するコンピュータ（パソコン）の記録装置にダウンロードして記録すること」又は「そのコンテンツを記録したCD-ROMなどのパッケージを所有すること」とほとんど同じ効果を生むものである。さらに、単に前記ダウンロードと同じ効果を生むだけでなく、ユーザーは、そのコンテンツのデータの記録により自己のパソコンの記録装置の記録可能な残容量が少なくなってしまうこと（容量不足の問題）が回避できると共に、前記コンテンツのデータの管理を自分でしなくてはならないという煩わしさ（「コンテンツの検索のための管理の問題」）からも解放されるという効果が得られるようになる。つまり、以上のアクセス利用権の付与により、ユーザーは、あたかも「そのコンテンツのデータの保存と検索のための管理とを代行してくれる自己専用のコンテンツの貸し倉庫」を得るのと同じメリットが得られる訳であり、あたかも「自分の保有する電子出版物を保管しておく電子書斎」を前記情報販売元のサー

on recording device of computer (personal computer) which self retains from said server", or "owning packages, such as CD-ROM on which was recorded the content," in "Whenever desired, the content can be utilized also how many times or in between when immediately."

Furthermore, it not only induces the only same effect as said download, but effect that user is released also from troublesomeness ("problem of management for search of content") that management of data of said content must be carried out by itself while he can avoid that residual amount which can record recording device of self personal computer with recording of data of the content decreases (problem that capacity is insufficient) comes to be acquired.

That is, the same merit is obtained by providing of the above right of access utilization as user gets "warehouse of content only for selves which executes storage of data of the content, and management for search on hire."

It has merit similar to having secured "electronic study room which stores electronic publication which he retains" in server of said information selling agency.

System of such merchandising (setup of right to carry out access and utilization of content correctly) of information, since the content is recorded not as paper medium but as electronized data, it is for information selling agency, for that cost for it is close to zero even if how many times or "how many hour" access is done by user at self server's database, and information selling agency, it is that special cost for it is close (if this is paper medium) to zero though self server's database is utilized as "a

バー内に確保したのと同様のメリットを有することになる。このような情報の販売(正確には、コンテンツのアクセス及び利用をする権利の設定)のシステムは、そのコンテンツが紙媒体ではなく電子化されたデータとして記録されるため、情報販売元にとっては、自己のサーバーのデータベースにユーザーによって「何回又は何時間」アクセスされてもそのためのコストはゼロに近いこと、及び、情報販売元にとっては、記録するのが紙媒体と異なって電子化されたデータであるため、自己のサーバーのデータベースを「ユーザーのための電子出版物の書斎」として利用させるとしてもそのための特別なコストはゼロに近いこと(これが紙媒体であれば、「ユーザーのための紙媒体からなる出版物を特別に保管するための書斎」を設けることは、そのための紙媒体の保管と保管のための物理スペースの確保など多くのコストを必要とする)、から初めて可能になるものである。

## 【0013】

すなわち、この実施形態1において、ユーザーがコンテンツのアクセス利用をする場合の動作は、次のようになる。ユーザーは、前記情報販売元がデータを

study room of electronic publication for user", since what are recorded is data which were electronized unlike paper medium.

It comes to be able to perform preparing "study room for storing specially publication which is made up of paper medium for user" for the first time from needing much cost, such as reservation of physical space for storage of paper medium for it, and storage.

## [0013]

That is, it sets in this Embodiment 1, operation in case user does access utilization of content is as follows.

Said information selling agency connects user to computer 2 which retains data, for example,

保有するコンピュータ2に接続して、例えばユーザーのIDコード（識別コードなど）とパスワードなどを送信し、さらに、この販売元のコンピュータ2にあるデータベースに蓄積されたコンテンツで自己がアクセス利用権を保有しているコンテンツの一覧表示を求める（図3のステップS4）。前記販売元のコンピュータ2では、前記のユーザーIDやパスワードなどからユーザー本人であることを確認できたら（同ステップS5）、そのユーザーが現時点でアクセス利用権を有している複数のコンテンツの内容又はタイトルの一覧を表示する。この一覧表示は、例えば、図4に示すような形で一覧表示される。すなわち、図4に示すように、ジャンル別に、タイトル、備考（そのコンテンツの制作会社、制作年月日、などを記録する欄）、アクセス利用権の有効期間、などが一覧表の形で、画面表示される（図3のステップS6）。ユーザーは、この一覧表示を見て、自分がこれから利用（視聴）を希望するコンテンツが、例えば図4の映画「風と共に去りぬ」であれば、その部分をマウスなどのポインティングデバイスでクリックして指定し、それに対するアクセス及び利用を要求する（同ステップS7）。これを受けて、情報

user's ID coding (identification code etc.), password, etc. are transmitted, furthermore, it calculates for list display of content in which self retains right of access utilization by content accumulated in database in computer 2 of this selling agency (step S4 of FIG. 3).

By computer 2 of said selling agency, if it can check that user from above-mentioned User ID, above-mentioned password, etc. is said person (this step S5), the user displays the content of two or more content which has right of access utilization at present, or list of titles.

It displays this list display as a list in form as shown in FIG. 4, for example.

That is, as shown in FIG. 4, screen display of the validity of title, note (column which records work firm of the content, work date, etc.), and right of access utilization etc. is given in form of chart according to genre (step S6 of FIG. 3).

User looks at this list display, and if content of which he expects utilization (viewing and listening) by this is movie "Gone With the Wind" of FIG. 4, it will click and designate that part with pointing devices, such as mouse, access and utilization with respect to it are required (this step S7).

In response, computer 2 of information selling agency permits access and utilization of the content to the user (this step S8).

販売元のコンピュータ2は、そのユーザーに対して、そのコンテンツのアクセス及び利用を許可する（同ステップS8）。

#### 【0014】

なお、以上の実施形態1においては、ユーザーに対してそのユーザーにアクセス利用権が設定された複数のコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する場合に、図4に示すような「一覧表」という形で表示するようにしているが、本発明はこれに限られるものではなく、単なる箇条書きなどでもよく、「表」という形以外の様々な形での一覧表示をすることも可能である。また、この実施形態1では、図4に示すように、前記アクセス利用権は、所定の有効期間（例えば「5年」）を有するものとして、図4の一覧表示にも、その有効期間を表示するようにしているが、この期間は、「1年」でも「2年」でも「20年」でも、あるいは「一週間」でも「1日」でも、ユーザーが任意に設定できる。本発明では、前記アクセス利用権は、それが設定されたコンテンツについては、所定の有効期間であれば、何時間でも何回でもアクセスして利用することを許可することを内容とするものとして構成している。そこで、ユーザーに対しては、前記

#### [0014]

In addition, when two or more content or titles of content to which right of access utilization was set by the user to user are displayed as a list in the above Embodiment 1, although it is made to display in form of "chart" as shown in FIG. 4, this invention is not restricted to this, and mere itemized statement etc. is sufficient as it, and it can also carry out list display in various forms other than form of "table."

Moreover, although said right of access utilization displays that validity also on list display of FIG. 4 as shown in FIG. 4 in this Embodiment 1 as what has fixed validity (for example, "five years"), user can set up this period as desired "one year", "two years", "20 years", "one week", or "at least one day."

In this invention, content to which it was set comprises said right of access utilization as what makes it content to permit accessing and utilizing between or any number of times when, if it is fixed validity.

Then, to user, it is as follows.

Said every content, displaying together with list display of content, the remaining period (For example, it may display like, the remaining period which can be accessed, the remaining period of movie "Gone With the Wind" is "three months", movie "Casablanca"

The remaining periods are "one year, four etc. months", etc.

コンテンツ毎に、コンテンツの一覧表示と一緒に表示するのを、残りの期間（例えば、アクセス可能な残りの期間を、映画「風と共に去りぬ」は残り期間が「3カ月」、映画「カサブランカ」は残り期間が「1年4カ月」、などのように）ように表示してもよい。

**【0015】**

実施形態2. 次に、本発明の実施形態2を図5及び図6に基づいて説明する。この実施形態2のハードウェア構成は、実施形態1とほぼ同様に、情報販売元のサーバー（コンピュータ）により形成される。このサーバーは、様々なコンテンツのデータベースを構築しており、ユーザー側のコンピュータからのアクセスとあるコンテンツについてのアクセス利用権の設定の要求を受け付けて、ユーザーに対して、指定されたコンテンツのアクセス利用権付与コードを発生する手段と、このアクセス利用権付与コード、アクセス利用権の有効期間などを、そのコンテンツの識別コード及びユーザーの識別コード（IDコード）と関連付けて記録する関連記録手段と、このアクセス利用権付与コードをアクセス利用権の設定の確認通知としてユーザーに送信する手段と、ユーザーからア

**[0015]**

Embodiment 2., next Embodiment 2 of this invention are demonstrated based on FIG.5 and FIG.6.

Hardware composition of this Embodiment 2 is formed by server (computer) of information selling agency nearly identically with Embodiment 1.

This server builds database of various content, request of setup of right of access utilization about access and a certain content from users' computer is received, means to generate right providing coding of access utilization of designated content to user, related recording means to relate validity of this right providing coding of access utilization, and right of access utilization etc. with identification code of that content, and user's identification code (ID coding), and to record it, means to transmit this right providing coding of access utilization to user as confirmative advice of setup of right of access utilization, means to judge right of access utilization of user about the content within validity in response to it when right providing coding of access utilization is transmitted from user and access utilization of



アクセス利用権付与コードが送信されて所定のコンテンツのアクセス利用を要求されたとき、それを受けて、そのコンテンツに関するユーザーのアクセス利用権が有効期間内かどうかを判定する手段と、この判定手段からの信号に基づいて、有効期間内であれば、ユーザーに該当するコンテンツのアクセス及び利用を許可する手段と、から構成される。

fixed content is required, based on signal from this evaluation means, if it is within validity, it comprises means to permit access and utilization of content applicable to user.

**【0016】**

すなわち、具体的には、次ような動作を行う。情報販売元が自己のサーバーにホームページを開設してデータベースを提供している場合に、ユーザーがコンピュータ・ネットワーク例えばインターネットを介してそのサーバーに接続して、そのホームページに表示されたコンテンツの一つについて、そのアクセス利用権の取得を希望する場合を考える。この場合、ユーザーは、そのコンテンツを指定して、そのコンテンツにアクセス利用権の代金を支払う（この支払いは、例えばクレジットカードによる支払いや電子マネーの送信などで行う）（図5のステップS11）。

**[0016]**

That is, the following operations are performed specifically.

When information selling agency opens homepage to self server and provides him with database, user connects with the server through computer \* network, for example, Internet, case where acquisition of the right of access utilization is wished is considered about one of the content displayed on the homepage. In this case, user designates that content, money of right of access utilization is paid to that content (step S11 of FIG. 5). (this payment is performed by payment by credit card, transmission of cybermoney, etc.)

**【0017】**

この代金支払いがあると、前記

**[0017]**

When this money payment is made, said server

サーバーは、そのユーザーに対して、そのコンテンツのアクセス利用権（このアクセス利用権は、所定の有効期間のみ存在する権利とされている。また、この有効期間は、情報提供元の側で予め一律に決めることもできるし、ユーザーが自分の好きな期間を任意に選べるようにすることもできる）を設定したことを示すアクセス利用権付与コードを生成する。そして、この生成したアクセス利用権付与コードと、そのアクセス利用権の有効期間と、そのコンテンツの識別コードと、そのユーザーの識別コードとを、互いに関連付けて記録する（図5のステップS12）。また、前記サーバーは、このアクセス利用権付与コードを、アクセス利用権の設定の確認通知として、ユーザーに送信する（図5のステップS13）。

## 【0018】

以上により、ユーザーは、そのコンテンツを、コンピュータ・ネットワークを介して前記情報販売元のサーバーにアクセスすることにより、いつでも好きなときに利用する権利を取得したことになる。これは、ユーザーにとっては、「いつでも好きなときに、何回でも何時間でも、そのコンテンツを自由に利用できる」という点で、「そのコンテン

is right of access utilization of that content (let this right of access utilization be right only for fixed validity to exist.) to that user.

Moreover, this validity can also be beforehand decided uniformly by information-providing origin side.

User can make it possible to choose his favorite period as desired.

)

Right providing coding of access utilization which shows that these were set up is formed.

And this formed right providing coding of access utilization, validity and identification code of content, and user's identification code of that right of access utilization are associated mutually, and are recorded (step S12 of FIG. 5). Moreover, said server transmits this right providing coding of access utilization to user as confirmative advice of setup of right of access utilization (step S13 of FIG. 5).

## 【0018】

By above, user acquired right to utilize the content by accessing server of said information selling agency through computer \* network when you like always.

This induces for user the almost same effect as "downloading and recording data of the content on recording device of computer which self retains from said server" in "When you like always, the content can be utilized freely also how many times or in between when."

Furthermore, this not only induces the only

ツのデータを前記サーバーから自己が保有するコンピュータの記録装置にダウンロードして記録すること」とほとんど同じ効果を生むものである。さらに、このことは、単に前記ダウンロードと同じ効果を生むだけでなく、ユーザーは、そのコンテンツのデータの記録により自己の保有するパソコンの記録装置の記録可能な残容量が少なくなってしまうこと(容量不足の問題)が回避できると共に、前記コンテンツの検索のための管理を自分でしなくてはならないという煩わしさからも解放されるという効果が得られるようになる。

#### 【0019】

すなわち、後日、ユーザーが、この前記ステップS13で送信されたアクセス利用権付与コードを前記販売元のサーバーに送信すると(図6のステップS14)、サーバー側は、そのアクセス利用権付与コードに記録されたアクセス利用権の有効期間が既に経過してそのアクセス利用権が消滅しているかどうかを判定する(図6のステップS15)。そして、この判定がYESであれば、ステップS16に進んで、ユーザーにその旨(アクセス利用権が有効期間経過により消滅している旨)を送信する(図6のステップS16)。他

same effect as said download, but effect that user is released also from troublesomeness that management for search of said content must be carried out by itself while he can avoid that residual amount which can record recording device of personal computer which self retains with recording of data of the content decreases (problem that capacity is insufficient) comes to be acquired.

#### [0019]

That is, if user transmits right providing coding of access utilization transmitted in said this step S13 to server of said selling agency later (step S14 of FIG. 6), server side will judge whether validity of right of access utilization recorded on that right providing coding of access utilization already elapsed, and that right of access utilization eradicates (step S15 of FIG. 6).

And if this evaluation is YES, it will progress to step S16 and that (purport in which right of access utilization eradicates by validity passage) will be transmitted to user (step S16 of FIG. 6).

On the other hand, evaluation of said step S15 permits "NO", i.e., access of content which progresses to step S17 and corresponds to the user if judged with "the right of access utilization

方、前記ステップS 1 5の判定が「NO」すなわち「そのアクセス利用権がまだ有効期間内である」と判定されれば、ステップS 1 7に進んで、そのユーザーに該当するコンテンツのアクセス及び利用（何時間でも利用可能）を許可する（同ステップS 1 7）。また、ユーザーが、前記ステップS 1 4の後で、自己が今現在アクセス利用権を有効に保有しているコンテンツの一覧を見たいと欲してその旨の要求をしたときは、情報提供元では、そのユーザーのIDコードをキーとして、前記関連記録手段とコンテンツのデータベースから、図4に示すようなコンテンツの一覧表を表示する。ユーザーは、この一覧表を見ながら、自分がこれから利用したいと思うコンテンツを指定して、アクセス利用を要求する。すると、前記の図6のステップS 1 5の処理に進む。なお、ユーザーは、自己が過去にアクセス利用権を保有していたコンテンツ（既にアクセス利用権の有効期間が経過してしまったコンテンツ）についても、同様に、一覧表示を要求することができる。このように、ユーザーのために、そのユーザーがアクセス利用権を保有しているコンテンツの一覧表を出力できることは、ユーザーが自分でコンテンツの検索のた

is still within validity", and utilization (useable also at any time) (this step S17).

Moreover, when it wants when user wanted to see list of content in which self retains right of the present access utilization effectively now after said step S14, and request to that effect is carried out, in information-providing origin, chart of content as shown in FIG. 4 is displayed from database of said related recording means and content by using ID coding of the user as key.

User designates content which he wants to utilize by this, looking at this chart, access utilization is required.

Then, it progresses to processing of step S15 of above-mentioned FIG. 6.

In addition, user can demand list display similarly about content (content which validity of right of access utilization has already elapsed) in which self retained right of access utilization in the past.

Thus, it is management for search of user of content by themselves (using commercial database \* software) that the user can output chart of content which retains right of access utilization for user.

What title of content etc. is input and managed for by itself is made unnecessary.

Major merit for user is given.

めの管理（市販のデータベース・ソフトウェアを使用して、自分でコンテンツのタイトルなどを入力して管理すること）を不要にするものであり、ユーザーにとって大きなメリットを与えるものである。

## 【0020】

## 【発明の効果】

(1)以上説明したように、請求項1の発明によれば、情報の販売元（情報提供元）は、ユーザーに対して、コンテンツの情報そのものを送信するのではなく、コンテンツにアクセスしてそれを利用できる（コンテンツを視聴したり、そのデータを加工するなどの利用ができる）アクセス利用権をユーザーに設定（付与）するようにしているので、従来の情報販売のやり方（データの送信というやり方）で生じる可能性のある「ユーザーのコンピュータなどの情報端末の記録装置の記録残容量が送信されたコンテンツの情報ですぐに不足してしまう」という問題が回避できるようになる。

## 【0021】

このようにコンテンツのアクセス利用権が設定されると、ユーザーは、いつでも、コンピュータ・ネットワークを介してその

## [0020]

## [ADVANTAGE OF THE INVENTION]

(1) Since it is made to set right of access (for it to view and listen to content and for utilization of processing the data to be performed) utilization which selling agency (information-providing origin) of information accesses content rather than transmits information of content itself to user, and can utilize it as user as explained above according to invention of Claim 1 (providing), problem which may be produced in the way (way of transmission of data) of conventional information merchandising of "running short immediately for information on content that recording residual amount of recording device of information terminals, such as user's computer, is transmitted" can be avoided now.

## [0021]

Thus, a setup of right of access utilization of content connects user to the information selling agency through computer \* network always, it can access and utilize to the content.

情報販売元に接続して、そのコンテンツに対してアクセスして利用することができるので、ユーザーは、自分のコンピュータなどの情報端末の記録装置にコンテンツをダウンロードして記録した場合と全く同様にコンテンツを利用することができるようになる。

Therefore, user can utilize content now completely like case where content is downloaded and recorded on recording device of information terminals, such as its own computer.

#### 【0022】

また、本発明では、ユーザーからの要求により（この場合、情報販売元は、何らかの手段で要求したきた人がユーザー本人であることを確認することが望ましい）、ユーザーがその情報販売元からアクセス利用権の設定を受けているコンテンツの一覧をユーザーのために表示するようにしているので、ユーザーは、自己がアクセス利用権を有しているものの中から任意のコンテンツを選択・指定して、それをアクセス・利用できるようになっている。これにより、ユーザーは、あたかも、「市販のデータベース・ソフトウェアを使用して、自己が保有するコンピュータの記録装置の中にあるコンテンツの一覧を表示させて、それらの中の任意のコンテンツを利用すること」と全く同様に、コンピュータ・ネットワークを介して、「情報販売元のコンピュータのデータベースの中の自分が

#### [0022]

Moreover, in this invention, by request from user (it is desirable for information selling agency to check that person who required is said person user with a certain means in this case), since user displays list of content which receives setup of right of access utilization from the information selling agency for user, user chooses \* designates content as desired from inside, although self has right of access utilization, it can be accessed \* utilized now.

Thereby, user uses database \* software of "marketing, list of content in recording device of computer which self retains is displayed, one in database of computer of "information selling agency displays as a list content which retains right of access utilization through computer \* network completely similar with utilizing content as desired in them", choice \* designation of the things as desired can be carried out, and they can be utilized."

Moreover, for information selling agency, information selling agency itself will do "management" agent of content in which user retains right of access utilization to user by introducing such a system, customer service to

アクセス利用権を保有するコンテンツを一覧表示させて、任意のものを選択・指定して利用することができる。また、このようなシステムを導入することにより、情報販売元にとっては、ユーザーに対して、ユーザーがアクセス利用権を保有するコンテンツを情報販売元自身が「管理」代行することになり、ユーザーへの顧客サービスを向上させてユーザーの囲い込み・ユーザーのリピート（再利用）を促すことができるというメリットが得られるようになる。以上の発明は、コンピュータなどの情報端末により利用されるデータは、紙やレコードなどの有体物と異なって、コンピュータなどの情報端末によりユーザーが利用できればよいのであり、どこに記録されようとその価値に変わりはないという発想から導かれたアイデアである。

## 【0023】

すなわち、このアクセス利用権の設定により、ユーザーは、そのコンテンツを、コンピュータ・ネットワークを介して前記情報販売元のサーバーにアクセスすることにより、いつでも好きなときに何回でも何時間でも利用する権利を取得したことになる。これは、ユーザーにとっては、「いつでも好きなときにそ

user is improved and merit that user's enclosure  
\* user's repeat (recycling) can be promoted comes to be obtained.

Unlike material things, such as paper and record, user just utilizes data for which the above invention is utilized with information terminals, such as computer, with information terminals, such as computer.

When where it records, it is idea drawn from way of thinking that there is no change in the value.

## [0023]

That is, user acquired right to utilize that content also how many times or in between when by accessing server of said information selling agency through computer \* network when you like always, by setup of this right of access utilization.

This induces for user the almost same effect as downloading and recording data of the content on recording device of computer which self retains from said server in "When you like

のコンテンツを何時間でも何回でも自由に利用できる」という点で、そのコンテンツのデータを前記サーバーから自己が保有するコンピュータの記録装置にダウンロードして記録することとほとんど同じ効果を生むものである。さらに、単に前記ダウンロードと同じ効果を生むだけでなく、ユーザーは、そのコンテンツのデータの記録により自己のパソコンの記録装置の記録可能な残容量がすぐなくなってしまうということが回避できると共に、前記コンテンツのデータの管理を自分でしなくてはならないという煩わしさからも解放されるという効果が得られるようになる。特に、この請求項1の発明では、前記のように、情報販売元が保有するコンテンツのデータベースの中のユーザーにアクセス利用権が設定されている複数のコンテンツの内容又はタイトルを一覧表示する機能を有しているので、ユーザーは、その情報販売元のサーバーのデータベースを、あたかも「自分が手元で所有し管理するコンピュータの記録装置内のデータベース」と同じように利用することができ、しかもコンテンツの一覧表示までしてくれるので、自分が一覧表示するための作業（データベースソフトウェアへの入力作業など）をしなく

always, the content can be utilized freely between or any number of times when."

Furthermore, it not only induces the only same effect as said download, but while being able to avoid that user will lose immediately his residual amount which can record recording device of self personal computer with recording of data of the content, effect of being released also from troublesomeness that management of data of said content must be carried out by itself comes to be acquired.

In particular, in this invention of Claim 1, it has function to display as a list two or more content or titles of content by which right of access utilization is assigned to user in database of content which information selling agency retains, as mentioned above.

Therefore, user can utilize database of server of the information selling agency like "database in recording device of computer which he owns and manages by hand", and, moreover, does it to list display of content.

Therefore, it is necessary to cease to carry out operation (input operation to database software etc.) for the displaying as a list, there is merit that generating of burden of data management of content produced when he downloads data of content to personal computer can be avoided.



て済むようになり、自分がコンテンツのデータをパソコンに取り込んだ場合に生じるコンテンツのデータ管理の負担の発生を回避できるというメリットがある。

#### 【0024】

また、従来より、インターネット上のサーバーにカラオケ曲のデータベースを備えておき、「1年間、300曲まで」のカラオケ利用権を4,000円で販売（CD-ROMなどの形で販売）し、購入したユーザーは、このカラオケ利用権に基づいて、インターネットでカラオケ曲を自分のパソコンに読み込んで、カラオケを再生する、というシステムが既に利用されている。（住友商事株式会社がインターネットのホームページ（<http://www.clibweb.or.jp>）で提供しているコンテンツの一つ。1996年6月6日付け日本経済新聞の記事「インターネットカラオケ」を参照）。しかし、このカラオケのインターネット利用は、ユーザーにサーバーに記録したカラオケのデータベースを利用させる権利を付与するというだけで、本発明のように、ユーザーがその情報販売元の提供するコンテンツの中のアクセス利用権を保有しているコンテンツを

#### [0024]

Moreover, conventionally, server on Internet is equipped with database of karaoke music, and right of karaoke utilization "to one year and 300 music" is sold for 4,000 yen (it sells in forms, such as CD-ROM), system of user who purchased reading karaoke music into his own personal computer on Internet based on this right of karaoke utilization, and regenerating karaoke is already utilized (one of the content which Sumitomo Corp. provides by homepage (<http://www.clibweb.or.jp>) of Internet).

See the report "Internet karaoke" of Nihon Keizai Shimbun as of June 6, 1996.

However, Internet utilization of this karaoke, it is only said that right for which user is made to utilize database of karaoke recorded on server is provided, function in which user displays content which retains right of access utilization in content which that information selling agency provides by list like this invention (this function) For making it display not only simply a list but also its user, it also has implication of "executing retention and management of two or more content which the user can utilize freely"

It does not have, but it is this point or differs from this invention greatly also at other point.

Moreover, this "right of karaoke utilization", since it is a system which charges according to

一覧で表示させるという機能（この機能は、単に一覧表示させるというだけでなく、そのユーザーのために「そのユーザーが自由に利用できる複数のコンテンツの保有及び管理を代行する」という意味をも有している）は備えておらず、この点で又はその他の点でも、本発明とは大きく異なるものである。また、この「カラオケ利用権」は、その楽曲を「何回使用したか、その回数」により課金されるシステムであるため、「ある楽曲を自分の好きなときに課金を気にしないで何回でも何時間でも鑑賞したい」という利用方法には向かないシステムである。このような鑑賞のための利用方法が必要になる映画・音楽・絵画・アニメなどのコンテンツについては、本発明のようなシステムが必要になると考えられる。その点でも、前記の「カラオケ利用権」のシステムは本発明とは大きく異なるシステムだと言える。

## 【0025】

以上のように、前記のアクセス利用権付与により、ユーザーは、あたかも「そのコンテンツのデータの保存と管理を代行してくれるデータ用の貸し倉庫」を得るのと同じメリットが得られる訳であり、あたかも「自分の保

using the music "how many times or the number-of-times", it is system which does not turn to usage of "I want to appreciate a certain music also in how many times or what time without caring about charging, when desired."

Content, such as movie \* music \* pictures \* animation for which usage for such appreciation is needed, is considered that system like this invention is needed.

Also at the point, it can be said that system of the above-mentioned "right of karaoke utilization" is system which this invention is large and is different.

## [0025]

As mentioned above, the same merit is obtained by the above-mentioned right providing of access utilization as user gets "warehouse on hire for data which executes storage and management of data of the content."

It has merit similar to having secured "electronic

有する電子出版物を保管しておく電子書斎」を前記情報販売元のサーバー内に確保したのと同様のメリットを有することになる。このような情報の販売（正確にはコンテンツのアクセス及び利用をする権利の販売）のためのシステムは、コンテンツが紙媒体ではなく電子化されたデータとして記録されるため、情報販売元にとっては、自己のサーバーのデータベースにユーザーによって何度アクセスされてもそのためのコストはゼロに近いこと、及び、情報販売元にとっては、記録するのが紙媒体と異なって電子化されたデータであるため、自己のサーバーのデータベースを「ユーザーのための電子出版物の書斎」として利用させるとしてもそのための特別なコストはゼロに近いこと（これが紙媒体であれば、「ユーザーのための紙媒体からなる出版物を特別に保管する書斎」を設けることは多くのコストを必要とする）から、初めて可能になるものである。

#### 【0026】

(2) また、本発明では、前記アクセス利用権は、コンテンツのアクセス及び利用を所定の期間だけ許可することを内容とするものとしてもよい。つまり、請求項1の発明にいう「アクセス利

study room which stores electronic publication which he retains" in server of said information selling agency.

System for merchandising (merchandising of right to carry out access and utilization of content correctly) of such information, since content is recorded not as paper medium but as electronized data, it is for information selling agency, for that cost for it is close to zero even if it is accessed by self server's database how many times by user, and information selling agency, it is that special cost for it is close (if this is paper medium) to zero though self server's database is utilized as "a study room of electronic publication for user", since what are recorded is data which were electronized unlike paper medium.

It comes to be able to perform preparing "study room which stores specially publication which is made up of paper medium for user" for the first time from needing much cost.

#### [0026]

(2) Moreover, said right of access utilization is good in this invention also as what makes it content only for fixed period to permit access and utilization of content.

That is, "right of access utilization" said to invention of Claim 1 may prepare fixed validity,

用権」は、「永久」でもよいが、所定の有効期間を設けてもよい。その場合、この有効期間を示すデータを前記アクセス利用権のデータの中に入れられれば便利である。こうすれば、情報販売元は、ユーザーからの要求により、現在まだ有効期間内にあるアクセス利用権が設定されたコンテンツの一覧を表示すると共に、既にアクセス利用権の有効期間が経過して消滅しているコンテンツの一覧表示をして、ユーザーの便宜を図ることが可能による。

## 【0027】

(3)また、請求項3の発明のコンテンツ販売システムでは、ユーザーがコンテンツのアクセス利用権の申込みをしたとき、そのコンテンツへのアクセス利用権を所定期間だけ付与するようにしている。そして、ユーザーは、このアクセス利用権が設定されたコンテンツを利用したくなったときは、コンピュータ・ネットワークを介してその情報販売元に接続してその要求をすることによって、情報販売元がデータを保有するコンテンツのデータベースの一部を、あたかも自己のもののように利用することができる。

## 【0028】

although "it is also permanent" is possible.

In that case, it is convenient if data in which this validity is shown are put into data of said right of access utilization.

If it carries out like this, information selling agency will do list display of content which validity of right of access utilization already elapsed, and eradicates while displaying list of content to which right of access utilization which is still within validity now was set by request from user.

Giving facilities to user is caused possible.

## [0027]

(3) Moreover, in content selling system of invention of Claim 3, when user proposes to right of access utilization of content, only fixed period provides right of access utilization to the content.

And user can utilize some databases of content with which information selling agency retains data like self thing by connecting with that information selling agency through computer \* network, and carrying out that request to come to utilize content to which this right of access utilization was set.

## [0028]

また、ユーザーは、あるコンテンツについてのアクセス利用を、「永久」にしたいとは思わないことが多い。なぜなら、新しいコンテンツは次々に生まれて行くからである。だから、コンテンツをパッケージの形で購入する場合、購入から時間が経過していくに連れて、利用されないまま「死蔵」されたパッケージが増えて行くことになり、膨大な数のパッケージの中で必要なパッケージが見つからなくなるという問題（検索のための管理の問題）が生じる。これは、コンテンツをパソコンのハードディスクにデータとして記録していく場合も、程度の差はあれ生じる問題である。本発明では、アクセス利用権に「有効期間」を付けることにしているので、アクセス利用権の「死蔵」が防止されるようになる。また、ユーザーにとっても、「有効期間」を付けることにより、利用しなくなった後の期間についてまでコンテンツの対価を支払わなくてよいというメリットがある。以上のように、本発明による「コンテンツの販売」を「コンテンツ提供側のデータベースの一部へのアクセス利用権の販売」として構成し、しかも、このアクセス利用権を所定の「有効期間」を有するものとして構成するシステムは、コンテンツ提供側に

Moreover, user does not think in many cases that he wants to make "permanent" access utilization about a certain content.

It is because new content is produced one after another and it goes.

Therefore, when purchasing content in form of package, time takes for elapsing from purchasing, package by which "hoarding" was carried out while not being utilized will increase, problem (problem of management for search) of required package stopping finding in a huge number of packages arises.

Also when this records content on hard disk of personal computer as data, difference of grade is a problem to produce.

In this invention, "validity" is attached to right of access utilization.

Therefore, "hoarding" of right of access utilization comes to be prevented.

Moreover, there is merit that it is not necessary to pay value of content even about period after stopping utilizing, by attaching "validity" also for user.

As mentioned above, "merchandising of content" by this invention is comprised as "merchandising of some rights of access utilization of database by the side of content provision", and system which comprises this right of access utilization as what has fixed "validity" produces major merit also for user side also for content provision side.

とつても、ユーザー側にとつても、大きなメリットを生み出すものなのである。

【図面の簡単な説明】

[BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS]

【図 1】

本発明の実施形態 1 の構成を説明するための概念図である。

[FIG. 1]

It is conceptual diagram for demonstrating composition of Embodiment 1 of this invention.

【図 2】

実施形態 1 の動作を説明するためのフローチャートである。

[FIG. 2]

It is flowchart for demonstrating operation of Embodiment 1.

【図 3】

実施形態 1 の動作を説明するためのフローチャートである。

[FIG. 3]

It is flowchart for demonstrating operation of Embodiment 1.

【図 4】

実施形態 1 で情報販売元がユーザーのために行うコンテンツの一覧表示の例を示す図である。

[FIG. 4]

It is figure in which information selling agency shows user's example of list display of content performed for accumulating in Embodiment 1.

【図 5】

本発明の実施形態 2 の動作を説明するためのフローチャートである。

[FIG. 5]

It is flowchart for demonstrating operation of Embodiment 2 of this invention.

【図 6】

実施形態 2 の動作を説明するためのフローチャートである。

[FIG. 6]

It is flowchart for demonstrating operation of Embodiment 2.

【符号の説明】

1 コンピュータ・ネットワーク

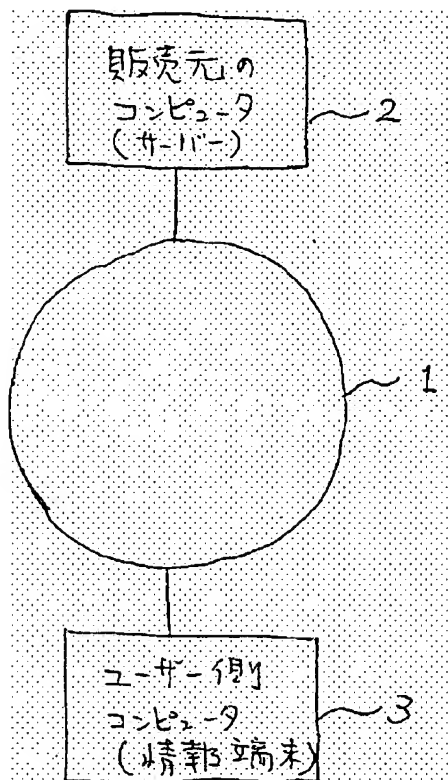
[DESCRIPTION OF SYMBOLS]

1 Computer \* network

- ク
- 2 情報販売元のサーバー (コンピュータ)
- 3 ユーザーのコンピュータ (情報端末)

【図1】

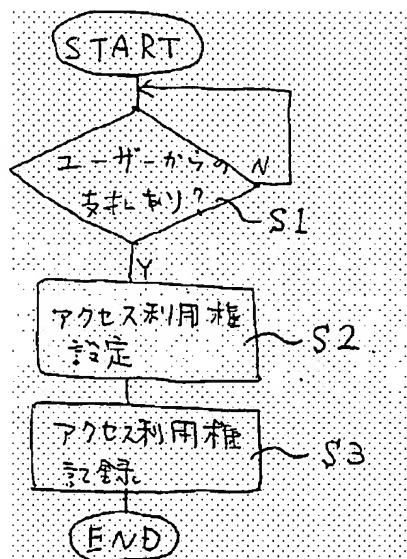
[FIG. 1]



- 2- Computer of selling agency (server)
- 3- User side computer (information terminal)

【図2】

[FIG. 2]



s1- Is there payment from user?

s2 - setup of right to utilize access

s3 - recording of right to utilize access

【図4】

[FIG. 4]

ユーザー名: 甲斐太郎

No	ジャンル	タイトル	備考	有効期間
1	映画	カサブランカ		1992.2.1 ~1997.2.1
2	映画	第3の男		1993.2.10 ~1998.2.10
3	映画	風と共に去りぬ	米国	1993.5.1 ~1998.5.1
4	TV番組	アトランタ5輪 女子フライング	1996年オリンピック	1996.9.1 ~2001.9.1
5	TV番組	秀吉	1996年NHK大河ドラマ	1996.10.10 ~2001.10.10
6	TV番組	ひまわり	1996年NHK朝ドラ2	1996.11.1 ~2001.11.1
7	アニメ	となりのトトロ	1990年 00社制作	1995.3.1 ~2000.3.1

User name: Shinnou Taro

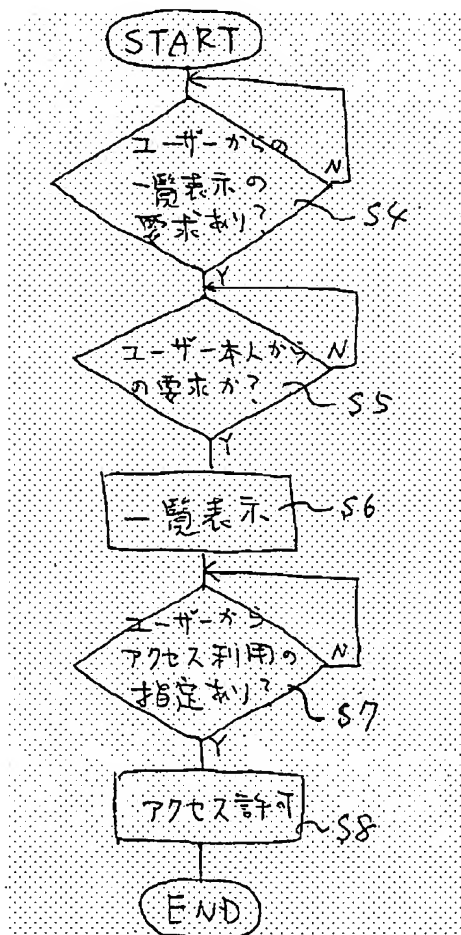
No, Genre, title, note, validity



- 1, movie, Casablanca
- 2, movie, Man of brother
- 3, movie, Gone With the Wind
- 4, TV program, Atlanta 5 good marathon, Olympic Games 1996
- 5, TV program, Hideyoshi, 1996NHK TV saga
- 6, TV program, Sunflower, 1996 year NHK morning drama
- 7, animation, My Neighbor Totoro, 1990\_\_company creation

【図3】

[FIG. 3]



S4- Is there a request of list display from user?

S5- Is it request from the said person user?

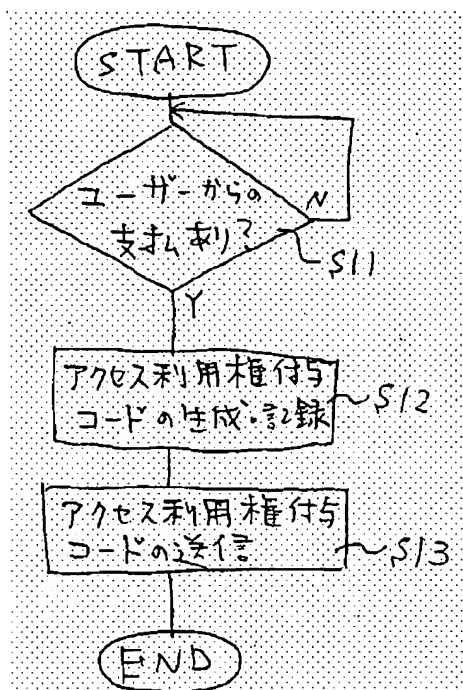
S6- List display

S7- Those of access utilization from user with designation

S8- Access permission

【図 5】

[FIG. 5]



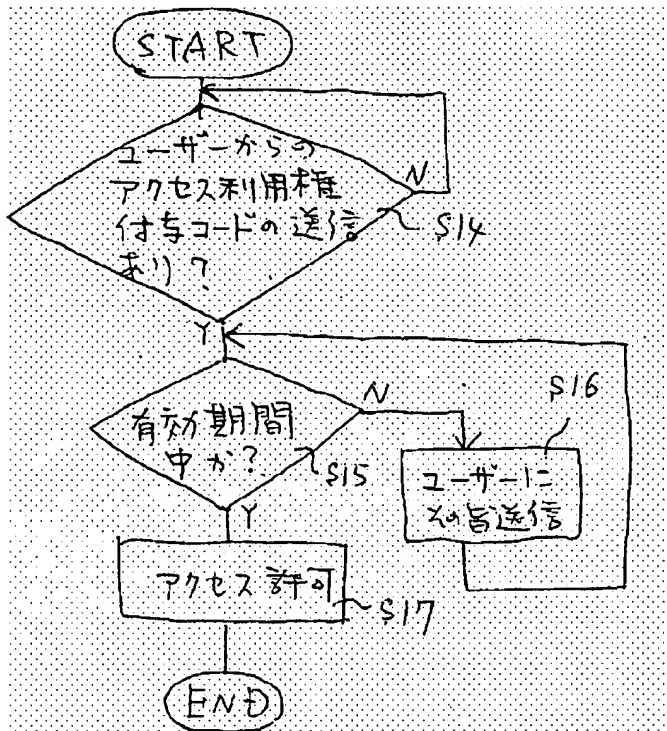
S11-Is there payment from user?

S12-Generation and recording of right providing coding of access utilization

S13-Transmission of right providing coding of access utilization

【図 6】

[FIG. 6]



S14-Those of right providing coding of access utilization from user with transmitting.

S15-Is it during effectiveness period?

S16-transmitted to user.

S17-access permission

## DERWENT TERMS AND CONDITIONS

*Derwent shall not in any circumstances be liable or responsible for the completeness or accuracy of any Derwent translation and will not be liable for any direct, indirect, consequential or economic loss or loss of profit resulting directly or indirectly from the use of any translation by any customer.*

Derwent Information Ltd. is part of The Thomson Corporation

Please visit our home page:

["WWW.DERWENT.CO.UK"](http://WWW.DERWENT.CO.UK) (English)

["WWW.DERWENT.CO.JP"](http://WWW.DERWENT.CO.JP) (Japanese)